

令和5年9月1日開会

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

令和5年第3回

杵築市議会定例会（別冊）

（経営状況報告書）

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

経営状況報告書

報告第 3 3 号 公益社団法人杵築市地域活性化センターの経営状況について
- 2 ページ -

報告第 3 4 号 株式会社きっとすきの経営状況について
- 35 ページ -

令和5年度事業計画書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

公益社団法人杵築市地域活性化センター

令和5年度事業計画書

・基本方針

杵築市の農業は、高齢農家及び兼業農家により支えられた農業であるが、今後も農業従事者の高齢化に伴い離農や規模縮小が予測されるなか、担い手不足が深刻化している。

地域住民は、地域農業の維持管理や農業経営及び将来的な発展、継続を憂慮し、また、地域全体の活性化や集落自体の限界化に不安を抱えており、支援は喫緊の課題である。

こうしたなか、これまで限られた中核農家は、農地所有者の土地保有の志向性の強さにより、農地集積が顕著に進展しないまま推移し、更に一時的投資及び労働者不足等で育ち難い状況にあった。

この様な厳しい状況下で、農家の創意と工夫による経営改善の誘導をするものの、個人的な改善のみでは自ずと限界があった。

このため、この法人は、公益法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを基本とし、長期展望に立った農地の流動化を推進するとともに、高性能機械や施設に対する投資の軽減、農作業の受委託等の支援、農業の分業化及び都市と農村との交流を実践し、もって効率的かつ生産性の高い農業及び地域活性化の実現を図ることを目的とする。そして杵築市農業の中核となり、魅力・やりがいのある農業を目指し、支援・振興を図ることとする。

その方策として、農地利用集積円滑化事業並びに、農地保全管理事業並びに、高次元農業推進事業並びに、担い手育成支援事業で構成する公益目的事業を実施する。

また、地域の景観並びに自然・生活環境を保全のため、過疎地域の集落等に対する生活道路維持管理、地域美化活動等の住民サービスマ等々の取り組みを、収益事業と位置づけ実施する。

実施する多岐にわたる事業は、その受益の大半が、小規模集落等の山間地の狭隘農地、分散農地など条件不利地域であり、作業効率等が極めて悪い。しかし、この法人は、農業福祉的役割を担いながら、地域農業の振興と過疎地域の支援を図ることにより、国土の保全及び自然・生活環境の保全、災害の防止等につながる。ひいては地域全体にその影響が及ぶ重要な役割を担っていると考え、使命として積極的に活動する。

1. 公益目的事業（令和5年度内訳）

一 農地利用集積円滑化事業一

農業生産の基盤となる優良農地を確保・有効活用のため、効率的かつ安定的な農業経営を営むものに対する農地の利用と集積の円滑化を図り、農村地域の秩序ある土地利用に努める。

農地中間管理事業の推進に関する法律の一部改正による農地バンク統合一体化に伴い、農地利用集積円滑化団体として新たな貸付業務などは行えないため、農地バンク事業への権利及び義務の継承を行うとともに、引き続き地域の農地の利用調整役を担い中間管理機構への集積に協力し、面的な農地利用の再編成に努めていく。地域農業経営サポート機構でも、担い手不在地域及び農地相談の大半を占める条件不利地域等では、連携員を中心とした農地の集積を目指し、農地の荒廃化抑制等に努める。

取り扱う事業別では、本年末が農地の利用期間満了となる農地所有者代理事業7件は借り手が高齢の方もあるため、今後の意向等を年度当初より情報収集し、中間管理機構への移行・誘導に向け取り組む。

農地の利用調整（地域農業経営サポート機構活動分含む）

農地中間管理機構への移行・誘導 計7件 6.11ha

7件 6.11ha 更新 農地所有者代理事業R5.12.31終了分の相談対応後→中間管理機構が農家間の貸借をマッチング

一 農地保全管理事業（農作業受託業務）一

農作業受託業務は、米価の低迷が続く中で、令和4年度から肥料・農薬の価格が高騰しており、農家の耕作意欲はさらに低下するものと思われる。このような状況の中で、現状の農作業受託件数を保ち続けることは難しいと考えられることから、耕作を止めても農地としての機能を維持するための作業プランを提示するなどの推進活動等を行っていく。また地域農業経営サポート機構として、すでに作業受託を請け負う集落営

農組織を中心に連携強化を図り、それ以外の組織についても当該の活動内容をアピールしながら、連携及び農作業受託への足掛かりを築いていく。

今後については水田作業以外の作業についても、より対応できる体制作りを図っていく。すでに数年かけてフレールモアやハンマーナイフモア等を導入し、畦畔や転作田、今後増えるであろう耕作放棄地での除草作業を行える体制作りを図ってきた。また県が水田の畑地化を推進しており、令和4年度には甘藷試験栽培圃場の作業の一端を担った。今後そのような作業受託が増加することを見越して、関係機関との連携強化や情報収集、作業機の検討・導入を図っていく。

一 農作業受委託支援計画（面積基準）一

種別	前年度実績 見込み(ha)	受託等計画												備考			
		面積(ha)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
水稲準備作業	19.69	17.20			→												荒田耕起、荒水取り、植代掻き
畦塗り	17394m	18000m	→														
田植え	26.02	25.00	→														うち除草散布14ha、肥料散布7ha
水稲収穫	28.36	30.00						→									通常27.2ha、湿2.8ha
農薬散布(麦含む)	261.95	280.00	→				→										①90ha、②180ha、麦10ha
転作田等除草	2.94	5.50					→					→					7レール、ハンマーナイフ、刈払機(715h)
その他農作業支援	1.89	3.50					→										転作田耕起、P.D、深耕ローリ、溝掘
土壌改良材散布	16.00	16.00															ミネラルG 160袋
堆肥散布	43.30	50.00															配達・散布1500袋(うち日出作業200袋)
森林組合委託業務	4件	5件															裾枝払い、ネット張り、植栽作業
林道豊後高田大田線外除草	30000㎡	30000㎡															豊後高田山香線、外3路線
竹林再生事業	3件	3件															

※農作業受委託合計(面積要件のみ) 427.20ha(前実見込比106.8%)

一 種類別生産計画

種別	家畜排せつ物処理計画	生産量(D)	種別	堆肥供給計画
乳用牛糞	3,500 t	4,328 m ³ (D)=A'×製品比率56.2%	バラ堆肥自己取り	800 m ³
繁殖牛糞	150 t		バラ堆肥配達	400 m ³
肥育牛糞	1,100 t	戻し堆肥減損量(E) -228 m ³	バラ堆肥配達散布	1,100 m ³
豚ぼん	0 t		合計	2,300 m ³
採卵鶏糞	0 t	完成品量(F) 4,100 m ³	小袋堆肥自己取り	8,000袋
ブロイラー糞	550 t		小袋堆肥配達	37,000袋
合計	5,300 t (A)	(A')=B+C 7,701 m ³	合計	45,000袋
			合計	1,800 m ³
			合計	4,100 m ³

一 山香グリーンエコランド事業計画(数量基準)

種別	前年度実績 見込み	受託等計画												備考	
		数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
家畜排せつ物搬入	5,300 t	5,300 t	450	450	500	560	380	500	400	380	480	370	430	400	農家戸数: 畜3 肥2 糞1 7 ⁰ 3 採卵0
副資材搬入(刈草)	250 m ³	300 m ³		100	100	100									1社より購入(冬季用スリ)300 m ³
副資材搬入(モミガラ)	200 m ³	200 m ³									200				JAF/ACから無償譲渡(他)作業委託)
堆肥自己取り	700 m ³	800 m ³	30	20	5	5	20	30	35	25	30	510	30	60	
堆肥配達	320 m ³	400 m ³	30	20	10	10	50	60	20	50	20	30	50	50	
堆肥散布	930 m ³	1,100 m ³	55	25	10	15	65	70	50	200	300	50	220	40	水稲500 m ³ ,花野菜400 m ³ ,日出200 m ³
堆肥自己取り	7,500袋	8,000袋	700	250	600	100	500	1100	800	1600	300	450	800	800	
堆肥配達	33,000袋	37,000袋	4000	2500	1800	700	3800	4000	5500	3000	2000	2700	2000	5000	
上記の内供給強化(A供給)	4,000袋	4,000袋	1000				1000				2000				展示会,大量注文等(配4000)

※搬入処理量5,300t(前実績見込比100.0%)、供給: 72,300 m³(前実績見込比117.9%)、小袋45,000袋(前実績見込比111.1%)

一 担い手育成支援事業 一

地域の実質的な担い手となり活動の核でもある当センターは、担い手不在集落を含む杵築市全域をカバーする、杵築市地域農業経営サポート機構として果知事から認定されている。このため杵築市集落営農連絡協議会（20組織）を中心とする24連携員と杵築市、JA等の各協力関係機関と密に連携をとり、農地利用集積円滑化事業、農地保全管理事業、高次元農業推進事業と多岐に渡る事業を展開している。地域経営体の組織連携を促進し、中核農家及び営農組織等の育成・支援となる担い手対策等により、農家の労力を補充するとともに、農業機械等への過剰投資の抑制、地域主幹品目の維持・拡大を図り、もって農業所得の向上と生活の安定、さらには地域農業の振興、農地の保全を図っていく。

① 杵築リース農園事業（農地利用集積円滑化事業）

農用地の賃貸借は、リース期間満了をもって随時、中間管理機構への移行、相談・応援態勢を維持する。

2. 収益目的事業（令和5年度内訳）

収益事業の公共施設関連連管理作業は、環境保全美化を主体とし、杵築市から市道日出大田線外、主要幹線20路線の除草作業、山香・大田地区における市道の道路補修・支障木伐採等の道路維持関連作業を受託する。また、山香庁舎周辺や市有地除草作業並びに公園施設の管理作業なども積極的に受託する。同時に、一般住民からの多種多様なニーズに対応できる体制を整え、特に住民の安心安全を脅かす害虫（蜂）駆除には、迅速に対応できるよう取り組んでいく。

請負事業は、不採算である公益目的事業部門を補うことを目的としており、令和4年度実績を超える業務確保を目標として積極的に利益増進を図ると共に、公益部門への人員の補充が行えるよう、作業の効率化を図っていく。

— 公共施設管理に係る受託作業の実施計画 —

種別	前年度実績 見込(千円)	受託等計画												備考			
		金額(千円)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月		
山香地域市道除草	7,037	7,037								→							75,013㎡(山香19、大田1路線)
甲尾山公園外管理	7,438	7,688															除草158,883㎡(6カ所)、防除、刈り清掃、外
山香地域市有地除草作業	2,195	2,299	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	41,640㎡(15カ所)
山香大田地域市道維持管理	2,230	2,230															道路維持、側溝清掃等
その他の市請負	2,500	4,294															山香庁舎庭園維持管理、支障木伐採
その他の請負	2,039	2,573															蜂駆除80件、外

※請負金額合計26,121,000円(前実見込比111.4%)

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度予算 額(B)	増減(A)-(B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	1	1	0	法人：基本財産30,000千円定期利息
基本財産運用益計	1	1	0	100.0%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	2	2	0	公益：寄付金26,100千円定期利息
特定資産運用益計	2	2	0	100.0%
受取会費				
正会員受取会費	5,000	5,000	0	市300、JA(山120、杵80)
正会員特別受取会費	1,000	1,000	0	運営費1,000
受取会費計	6,000	6,000	0	100.0%
事業収益				
農地賃借収益	2,152	3,096	-944	売買等事業分 山香6戸、杵築15戸
農地手数料収益	50	270	-220	杵築リース農園事務手数料
農地利用雑収益		6	-6	
農地利用集積円滑化事業収益計	2,202	3,372	-1,170	65.3%
耕起作業収益	268	245	23	3.5ha 前実 3.4ha
畦塗り収益	1,170	1,170	0	18.0km 前実 17.4km
荒水代掻収益	875	822	53	13.7ha 前実 16.5ha
田植え作業受託収益	1,784	1,677	107	25.0ha 前実 26.0ha
水稻収穫作業受託収益	5,511	5,533	-22	30.0ha 前実 28.4ha
農作業人夫使用料	540	540	0	サポート機連携
薬剤散布収益	10,250	11,438	-1,188	280.0ha 前実 262.0ha
その他農地保全管理収益	10,641	9,822	819	除草・森林組合増、耕起・除草セット
農地保全管理事業収益計	31,039	31,247	-208	99.3%
水稻苗生産収益	32,947	32,966	-19	55,500箱 前実 49,923箱
野菜苗生産収益	10,940	13,217	-2,277	小袋栽培試験減
花卉苗生産収益	11,060	10,983	77	ヤソ増
育苗雑収益	5,049	33	5,016	科目変更(前その他雑収)
高次元農業推進事業収益計	59,996	57,199	2,797	104.9%
堆肥供給収益	19,498	18,200	1,298	小袋堆肥供給先増
受託収益	4,479	4,462	17	
家畜糞尿処理請負収益	2,904	2,822	82	
エコラント事業雑収益	1,000		1,000	指定管理料：科目変更(前その他雑収)
山香グリーンエコラント事業収益計	27,881	25,484	2,397	109.4%
杵築リース農園事業収益計				-
公共施設等管理作業収益	26,017	25,335	682	市有財産・市道維持・庭園管理増
収益事業収益計	26,017	25,335	682	102.7%
事業収益計	147,135	142,637	4,498	103.2%
受取地方公共団体補助金	638		638	多面：科目変更(前その他雑収)
振替：受取地方公共団体補助金	4,654	5,607	-953	指定正味財産からの振替額
受取地方公共団体助成金	100	300	-200	農地利用集積円滑化事業活動助成金
受取補助金等計	5,392	5,907	-515	91.3%
受取利息	6	6	0	預金受取利息
その他雑収益	360	9,053	-8,693	各事業～科目変更：生果、指定管理、多面外
雑収益計	366	9,059	-8,693	4.0%
経常収益計	158,896	163,606	-4,710	97.1%

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

(2) 経常費用				(公益目的事業、収益目的事業)
事業費				
(集積)農地賃借費	2,152	3,096	-944	
(集積)事業雑費		6	-6	
農地集積田滑化事業費計	2,152	3,102	-950	69.4%
(保全)諸材料費	3,778	3,781	-3	田植え・除草剤、へり農薬
(保全)機械賃借費	188	188	0	へり防除：車両レンタル外
(保全)その他作業委託費	1,551	1,951	-400	へり防除委託、ホーシHP保守
農地保全管理事業費計	5,517	5,920	-403	93.2%
(高次)種苗費	5,893	5,971	-78	水稻種籾、ヤマトノキク親株外
(高次)肥料費	411	379	32	肥料外
(高次)農薬費	726	922	-196	水稻外
(高次)諸材料費	6,096	6,009	87	水稻・花き野菜培土外
(高次)出荷経費	2,120	4,145	-2,025	小社'出荷費用、ふれあい手数料外
(高次)試験研究費	373	150	223	試験栽培費用
(高次)事業雑費	72	72	0	水稻苗箱洗浄作業委託
高次元農業推進事業費計	15,691	17,648	-1,957	88.9%
(eco)原材料	99	264	-165	副資材(刈草)
(eco)諸材料費	1,909	1,586	323	小袋用袋
(eco)燃料費	663	771	-108	堆肥化処理燃料(ホーシイセ)外
(eco)動力光熱費	3,000	2,160	840	電気料金
(eco)作業委託費	180	260	-80	フレコン詰め、配達
(eco)堆肥化経費	36	36	0	脱臭剤：希硫酸
(eco)eco推進活動費	48	61	-13	処理料金減額(水分調整協力)、外
(eco)堆肥化雑費	80	330	-250	堆肥成分分析
山香グリーンエコラント'事業費計	6,015	5,468	547	110.0%
杵築リース農園受託事業費計				-
(公共)請負委託仕入	441	337	104	芝肥料、殺虫剤、外
公共施設等管理事業費計	441	337	104	130.9%
事業原価計	29,816	32,475	-2,659	91.8%
(事)給料手当	66,554	67,281	-727	算出基礎：従事 合計31人体制
(事)退職給付費用	1,611	1,897	-286	正職員6名
(事)法定福利費	8,788	8,703	85	
(事)福利厚生費	2,131	2,370	-239	
人件費計	79,084	80,251	-1,167	98.5%
(事)会議費	55	55	0	
(事)消耗品費	4,030	4,021	9	チップ'外
(事)宣伝広告費	214	480	-266	エコ：試供品、販促品
(事)通信運搬費	733	752	-19	各事業：切手、電話料金
(事)図書研修費	537	570	-33	資格取得
(事)事務委託費	372	367	5	税理士顧問料(公・取)、手数料等
(事)租税公課	9,654	9,547	107	軽油税、印紙税、消費税
(事)会費分担金	21	21	0	各事業協議会等会費
(事)保守修繕費	6,488	6,456	32	各事業機械施設修繕等
(事)保険料	1,860	1,835	25	へり動産、自動車、賠償、傷害
(事)水道光熱費	2,871	2,076	795	各事業：電気、水道
(事)賃借料	1,301	1,291	10	車輛・機械、会計ソフト(公・取)
(事)消耗什器備品費	898	451	447	保全、公共：工具・刈払機
(事)車輛費	3,806	3,749	57	各事業：車検・整備、リ付外
(事)施設管理費	813	759	54	電気保安、警備(公)、ホシ(公・取)
(事)燃料費	4,983	5,596	-613	車輛・機械・施設燃料
(事)減価償却費	7,165	8,455	-1,290	車輛・機械・施設償却
(事)旅費交通費	50	50	0	旅費
(事)雑費	367	367	0	高次：水源'使用料、外
その他事業経費計	46,218	46,898	-680	98.6%

収 支 (損 益) 予 算 書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
 会計名 会計全体

(単位：千円)

事業費合計	155,118	159,624	-4,506	97.2%
管理費				(法人会計)
(管)給料手当	546	915	-369	算出基礎:従事 会計31人体制
(管)法定福利費	98	163	-65	
(管)福利厚生費	110	111	-1	
人件費計	754	1,189	-435	63.4%
(管)会議費	33	30	3	理事会・総会費用
(管)消耗品費	170	174	-4	事務消耗品
(管)通信運搬費	105	104	1	切手、電話料金
(管)図書研修費	60	60	0	図書、公社研修費、外
(管)事務委託費	848	839	9	税理士(法)、社労士顧問料
(管)租税公課	6	31	-25	収入印紙、外
(管)会費分担金	63	62	1	農業公社協議会、安全運転管理
(管)保守修繕費	394	221	173	複合機、会計システム保守、セキュリティ
(管)保険料	7	28	-21	傷害保険、自動車保険
(管)水道光熱費	132	99	33	事務所:水道、ガス、電気
(管)賃借料	202	202	0	会計システム(法)
(管)消耗什器備品費	125	125	0	パソコン、周辺機器
(管)車輛費	70	105	-35	整備費
(管)施設管理費	283	229	54	警備保障(法)、ゴミ収集(法)、外
(管)燃料費	102	104	-2	自動車
(管)旅費交通費	114	114	0	役員費用弁償
(管)支払利息	15	15	0	短期借入金利息
(管)雑費	30	30	0	
その他管理費計	2,759	2,572	187	107.3%
管理費合計	3,513	3,761	-248	93.4%
経常費用計	158,631	163,385	-4,754	97.1%
評価損益等調整前当期経常増減額	265	221	44	119.9%
当期経常増減額	265	221	44	119.9%
当期経常外増減額				
他会計振替額	0	0	0	収益事業振替額397
税引前当期一般正味財産増減額	265	221	44	119.9%
法人税、住民税及び事業税	161	176	-15	
当期一般正味財産増減額	104	45	59	231.1%
一般正味財産期首残高	126,685	126,640	45	100.0%
一般正味財産期末残高	126,789	126,685	104	100.1%
一般正味財産への振替額	4,654	5,607	-953	83.0%
当期指定正味財産増減額	-4,654	-5,607	953	83.0%
指定正味財産期首残高	82,516	88,123	-5,607	93.6%
指定正味財産期末残高	77,862	82,516	-4,654	94.4%
Ⅲ 正味財産期末残高	204,651	209,202	-4,551	97.8%

令和4年度

事業報告書

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

豊かな村づくり



写真：農業機械操作技術継承(弾丸暗渠/高糖度甘藷作付予定圃場)

公益社団法人 杵築市地域活性化センター

主 な 活 動 報 告

年	月	日	活 動 内 容
令和4年	4月	5日	水稻苗播種開始
		19日	ヤマシ`ノギ`ク親株引取(花きグループ)
		26日	白ネ`苗納品開始(JAおおいた東部事業部山香地域)
	5月	6日	田植え受託作業開始
		12日	公益法人制度に関する説明会
		24日	監事監査
		25日	ヤマシ`ノギ`ク苗 挿し芽作業開始
		27日	令和4年東部地区水田農業研究会
	6月	9日	理事会
		13日	杵築市農業再生協議会幹事会
		15日	ヤマシ`ノギ`ク苗 出荷開始
		27日	定時社員総会
		29日	大分県市町村農業公社連絡協議会総会
		30日	杵築市集落営農連絡協議会通常総会
		7月	11日
	14日		大分県市町村農業公社連絡協議会事務局引継
	20日		水稻無人ヘリコプ`ター防除第1回目開始(8/9迄:杵築外舎)
	27日		ドローン初防除
	8月	8日	杵築市集落営農連絡協議会ホ`スト機構主催研修会
		10日	令和4年東部地区水田農業研究会現地研修会
		12日	ブ`ロccoli`苗 播種作業開始(JAべ`っ`ぶ`日出)
		18日	水稻無人ヘリコプ`ター防除第2回目開始
		18日	ホ`ス`キ`苗 播種作業開始
	9月	31日	ブ`ロccoli`苗 出荷開始(JAべ`っ`ぶ`日出)
		8日	タマネ`苗 播種作業開始(JAおおいた東部事業部山香地域)
		9日	早期水稻収穫受託作業開始
		14日	ホ`ス`キ`苗 定植開始
		21日	県職員専門技術研修受入
		30日	令和4年度上半期棚卸

主 な 活 動 報 告

年 月 日	活 動 内 容
令和4年 10月30日	土壌改良剤(水田ミネラルG散布)開始
11月 1日	令和4年度上半期会計等監査
8日	タマネギ苗(極早生)出荷開始
15日	土壌改良材(水田堆肥散布)開始
15日	大分県花き種苗供給連絡協議会
12月15日	水田畑地化による園芸振興研修会
15日	理事会
令和5年 1月13日	ホスネギ苗挿し作業開始
13日	カボチャ苗播種作業開始
19日	大分県市町村農業公社連絡協議会 所長、事務局長会議
19日	健康出前講座及び安全講習会(公共施設)
24日	杵築市農業再生協議会 幹事会
27日	令和4年度杵築市集落営農連絡協議会 (市長との意見交換会、インボイス制度研修会)
2月 6日	杵築市農業再生協議会 総会
16日	白ネギ苗播種作業開始
20日	ホスネギ苗(新盆分)出荷開始
3月 1日	インボイス制度研修会
3日	高糖度かんしょ引取、定植
10日	ホスネギ苗(旧盆分)出荷開始
27日	小菊(7月咲)出荷開始
31日	監事会(活性化センター、山香グリーンエコランド 棚卸)

【事業報告】

－ 総 括 －

農業・農村を取り巻く環境は、近年の農業施策の変動に加え、農業従事者の高齢化並びに後継者不足が進行し、生産コスト上昇やコロナ禍による農産物の価格低迷、さらに異常気象と様々な不安も重なり、依然厳しい状況にある。収益性の低い条件不利地域に於いては、病虫害被害や米価の下落等で一段と農業離れに拍車がかかり、遊休農地、荒廃化が進むことが懸念される。

事業面では、公益目的事業の農地利用集積円滑化事業に於いては、新規相談や賃借期間の終期到来分については、農地中間管理機構への移行・誘導を中心に業務を推進した。

農地保全管理事業に於いては、米価低迷に伴う作業量の減少が懸念されたが、水稻準備作業では集落営農組織からまとまった注文があり、また稲刈作業では台風の影響による倒伏圃場の作業を受注し、水稻基幹作業では前年比119.4%であった。ただし水稻防除作業では注意報の出たカメムシの被害がウンカ被害のように目に見えての被害がないことから注文増に繋がらず、前年比89.5%となり、水稻作業全体では前年比94.8%となった。下期には森林組合からの作業が大幅に減少したが、みかんの植替作業や椎茸の駒打ち作業での人夫派遣の依頼があり、今後の事業展開に繋がるヒントを得られた。

高次元農業推進事業の水稻苗では、食用米が前年比94.3%と減少傾向が続いている一方で、飼料用米は前年比133.3%と増加しており、水稻全体では前年比97.9%、約1100枚の減少となった。

薬用植物栽培試験では、前年に引き続き新型コロナウイルス対策事業を活用し、キキョウを中心とした作業を行った。出荷量については前年度とほぼ同等であったが、生薬用となる大きな製品規格の割合が増加しており、品質の向上が図られた。

花卉では、ヤマジノギク苗が前年比105.8%と増加したが、ホオズキ苗や小菊苗は落ち込んだ。野菜苗では、夏場には県からイチゴ苗の管理を受託し、冬場からは高糖度かんしょ苗の試験栽培を開始した外、新規に白ネギ苗の播種・管理作業を受託し、花卉苗で減少したハウス占有率の向上を図った。

山香グリーンエコランドの家畜排せつ物搬入処理では、前年比で乳牛ふんが111.8%、肥育牛ふんが117.8%、ブロイラーふんが111.0%となった。家畜ふんの搬入量は増加したが、水分調整用副資材である刈草の搬入量が大幅に減少したため、二次発酵の堆肥を戻し堆肥として使用せざるを得ない状況となった。堆肥供給では、小袋堆肥の供給先が年度途中から増加したため前年比131.4%の供給増となったが、バラ・フレコンの供給は水田散布や前年実施県事業分の注文減により、前年比88.0%と落ち込んだ。

収益目的事業の公共施設関連管理作業に於いて、市道除草作業では路線数が増え、また選挙ポスター掲示場の設置等の作業を請け負った。一方で害虫駆除が86件となり前年比76.1%に減少した外、支障木伐採作業等の市受託作

業も30件から20件に減少した。

経営面では、流動比率は757%であり理想水準を満たしている。棚卸資産においては、エコランドの小袋供給量増に伴い堆肥用小袋在庫が減少したため諸材料費が減少し、バラ堆肥の仕掛品が増え完成品が大幅に減少したことにより、棚卸資産は前年比89.8%と減少した。

固定資産に於いては、前年度を195万円ほど上回る機械・設備等取得資金を積み上げることができたが、今後の荒廃地・畦畔等の草刈作業の注文増を見越してハンマーナイフを購入した外、令和2年度に取得したエコランド小袋詰機の減価償却が大きく、固定資産合計は前年比95.3%であった。

このため資産合計は541万円減少し、前年比97.9%の2億5,369万円となった。

これに対し、負債に於いては、高次元農業部門において生育不順であった8月咲小菊穂の購入やエコランド指定管理にかかる市への寄付金の発生に伴い、流動負債が前年比102.0%と微増し、また一名の退職者に伴い退職給付引当金が前年比82.3%に減少した。これにより、負債合計は前年比90.6%となった。

損益では、収入に於いて、農地保全管理事業の水稲作業ではほぼ前年度を上回る作業を受託したが、水稲防除作業ではカメムシ注意報が出されたものの被害が目に見えるものではなかったため、散布面積が前年比89.5%と落ち込んだ。また前年度にあった水中ポンプ交換作業がなくなった外、農閑期に作業を受託していた森林組合受託作業が大きく減少したため、前年比89.8%の減収となった。高次元農業推進事業では、米価低迷や離農のため、食用米については前年比94.3%、約2600枚の減少となった。一方で飼料用米は約1500枚増加し、水稲全体では約1100枚の減少となったが、安価な播種苗や緑化苗が落ち込んだため、前年比100.4%の微増となった。野菜苗では小ネギの試験栽培で作業期間の重複のため出荷不可となり、野菜苗全体で前年比82.9%と減少した。育苗雑収益では前年度の理事会で指摘のあった雑収益の扱いを修正したため大幅に改善し、全体で前年比119.5%の増収となった。

エコランド事業では、堆肥供給収益でバラ・フレコン堆肥供給は減少したが、利益率の高い小袋堆肥の供給が大幅に増えたため、前年比119.9%となった。家畜糞尿処理料でも前年比114.2%と増加し、全体で前年比116.6%の増収となった。公共施設管理事業では、路線が増えた市道除草作業では増収となり、選挙ポスター掲示場の設置も2件請け負ったが、害虫駆除が前年比73.9%となり、また市役所から臨時的に受託していた支障木撤去作業等が前年比32.8%と大幅に落ち込んだため、全体で前年比85.8%と大幅に減少した。

これらを合算した経常収益計は、前年比97.8%の1億5,560万円となった。

費用のうち事業原価費に於いては、農地保全管理事業で前年に水中ポンプ交換作業にかかった諸材料費がなくなり、水稲防除にかかる作業委託費についても作業面積の減少に伴い減少した。高次元農業推進事業では、生薬にかかる諸

材料費が増えたことや翌年度産白ネギの播種量が増え、培土も肥料効果が高いものに変更したため諸材料費が増加した。一方で小ネギ出荷量の大幅な減少にともない、出荷経費が大きく減少した。エコランド事業では、小袋堆肥の供給量が大幅に増えたことにより、諸材料費が増加した。一方でバラ堆肥散布量の減少や作業効率の向上により、センター作業委託費が大きく減少した。

人件費については、職員一名が退職したため退職給付費用や賞与引当金は減少したが、最低賃金の引き上げ幅が大きかったため給与手当については法人会計と合わせて微増となった。

その他事業費としては、前年実施したドローンの講習会や積載車の大きな修繕がなく、図書研修費及び車両費は大きく減少した。一方で稲刈作業では倒伏や湿田での作業のためにコンバインへの負荷が大きく、エコランドでも施設機械の老朽化が進んでいるため、保守修繕費が増加した。またエコランドでは損益でプラスが出たため、支払寄付金が約62万発生した。

これらを合算した経常費用計は、前年比97.2%の1億5,242万円となった。

経常外増減の部に於いては、退職者一名の発生に伴い、退職給付引当金取崩金が発生した。

そして認定法18条の規定により、収益事業等から生じた利益の50%を公益目的事業会計に繰入処理を行うため、収益事業から165万円を公益目的事業に繰入し、法人税等の税を引き、当期一般正味財産増減額は395万円と成り、指定正味財産を加えた正味財産期末残高は前年比99.2%の166万円減少となる2億1,311万円、自己資本比率84.0%となった。

今年度は農閑期に市役所や森林組合から例年通りの作業を受託できない状況となったが、周辺の農家や法人から人夫作業の依頼があり対応した。今後も農家の人手不足が進むことが予測される中でこのような依頼に細かく対応していくことが重要であり、活性化センターの目的を再認識し、農家支援並びに地域保全に寄与できるような組織作りに取り組んでいく。

1. 農地利用集積円滑化事業

農地利用集積円滑化事業は、農地中間管理事業（農地バンク）に一元化され取り扱いができないため、新規相談や利用権終期到来分について市へ情報提供を行うとともに、地権者・担い手双方へ案内文書を送付し、問合せ窓口として農地中間管理機構に集積されるべく調整を行った。

今後も市・農業委員会等の関係機関の指導のもと、農地中間管理機構への集積に協力し、ひいては杵築市の農業発展のために、希望ある農業へと誘導できるよう重要な役割を担っていきたい。

2. 農地保全管理事業

地域農業、農地の保全、農業機械の過剰投資の抑制を目的に、農作業受託という形で実質的な担い手となり、農業支援に取り組んだ。

水稻については、8月下旬にカメムシに対する注意報が出された外、9月中旬には大型で非常に強い勢力の台風14号がかなり接近したため、倒伏圃場が

多く見られたが、作況指数は99とほぼ平年並みであった。

このような状況下で、水稻準備作業では集落営農組織からのまとまった作業を受託できたこともあり、全ての作業が前年度実績を上回った。しかし水稻防除作業ではカメムシがウンカのように目に見えての被害がないため受注増には結びつかず、前年比89.5%と減少した。水稻収穫作業では、倒伏した圃場が多かったため前年度比120.5%の収益増となったが、倒伏した圃場での作業であったため、コンバインの保守修繕費が大幅に増加した。

所有する無人ヘリコプターの部品供給終了に備え、前年末にドローンを導入し、今年度は試験的な散布を行った。作業開始後すぐに予期せぬ飛行のために墜落することになったが、バッテリー能力上飛行時間が極端に短いため、受託作業としては不向きであり、今後課題を残すことになった。

農閑期に毎年受託していた森林組合からの作業が前年比23.9%と大幅な減収となった。一方で大分県農林水産研究指導センターから水田畑地化試験の受託作業を請け負うことができ、また杵築地域の農家等からみかんや茶の植栽作業に対しての人手派遣依頼があり請け負った。このような形で農業者の高齢化や担い手不足に対する支援を行っていくことも活性化センターの存在意義であるため、情報収集や関係機関との連携を図っていく。

3. 高次元農業推進に関する育苗センターの管理運営

杵築市農業の振興と発展を目的とし、農家の育苗作業の省力化及び経費の軽減化を図り、農家のニーズに合った安心安価な健苗生産供給に取り組んだ。

水稻苗のうち食用米苗は、米価の低迷等の要因により今年度も落ち込み、前年比94.3%、約2600枚の減少となった。一方で飼料用米は前年比133.3%、枚数で約1500枚増加し、水稻全体では前年比97.9%、約1100枚ほどの減少となった。

薬用植物栽培試験では、キキョウを中心とした管理を行い、転換作物普及支援委託業務の事業を活用して前年度と同様にアルバイトを雇用し、出荷調整等の作業を行った。数量はほぼ前年度並みであったが、生薬として使用できる大きなサイズの製品割合が増えており、品質の改善が図られた。

育苗ハウスでは、通常品目に加え、夏場には県からイチゴ苗の管理を請け負った外、冬場からは高糖度かんしょ苗の試験栽培に取り組み、また次年度生産分の白ネギ苗についても積極的に請け負い、前年度を上回る播種作業を行った。小ネギの試験栽培では、春期の水稻苗作業との兼ね合いで課題を残すことになった。

花き苗では、前年度から苗作りを再開したヤマジノギク苗は前年比105.8%となったが、小菊苗・ホオズキ苗はそれぞれ90.8%、80.3%と大きく落ち込んだ。秋から親株作りを開始する小菊苗では寒い時期に株を増殖するため、冬から穂取を開始する7月咲小菊の穂立ちが悪くなる。今後の検討課題として、関係機関と協議を重ねていく。

4. 山香グリーンエコランド事業

【 搬 入 】

家畜排せつ物の搬入量は、5,656 tで前年比116.5%となり、数量にして802 tの増加、計画比112%となった。

各畜種における対前年での増減は、乳牛ふんでは401 tの大幅増となった。一方で副資材の代替として搬入を推進している肥育牛ふんは170 t増加したが、堆肥化を促進する上で乳牛ふんの増加に追いつかず不足した状況になった。また、繁殖牛ふんは181 t、ブロイラーふんは50 tの搬入増となった。

【 堆肥化処理過程 】

処理過程では、どの畜種においても搬入量が増加し、特に水分量が多い乳牛ふんの搬入量が増加した。一方で、副資材となる刈草の搬入量が著しく減少し、堆肥化を進める上で非常に厳しい状態となり、戻し堆肥を使つての水分調整を行わざるを得ない状況となった。品質の維持は図られたが、製造原価が上がってしまう要因になるため、刈草の確保や搬入時の水分低下の呼びかけを持続的に行っていく。

【 堆肥供給 】

堆肥供給は、フレコン・バラ供給は前年比88.0%、計画比76.8%、小袋供給は前年比131.4%、計画比108.0%であった。

フレコン・バラ供給では、バラ渡しが前年比100.7%、計画比83.8%、フレコン配達前年比92.5%、計画比63.8%、フレコン散布では、前年比80.1%、計画比77.2%であった。

フレコン・バラにおいて、米価の下落により水田散布作業は減少傾向が続いている。また日出町における前年に実施した県事業による堆肥散布作業も減少した。茶葉生産農家へのバラ供給量はほぼ横ばいであった。

小袋堆肥では、工場渡しが前年度比163.8%、計画比125.6%となり、配達では前年比123.9%、計画比103.6%であった。

小袋堆肥については、本年度途中から供給を開始した店舗数が増えたことや、以前から取引があった業者の工場渡し数が一気に増えたため、前年に比べ1万袋を超える出荷量となった。利益率の高い小袋堆肥が増加したことで、収支は大幅に改善し、約62万円の支払寄付金が発生することになったが、保守修繕費が増加していることや今後の人員体制等を見直す必要があり、市役所と協議を行っていく。

5. 杵築リース農園事業

リース料精算に係る事務作業については、JAおおいた東部エリアからの請求を受け、各事業実施者（参入者）に対するリース料（農地賃借料、施設償還金・保険料等未収金）の請求令書を発送し、随時リース料を徴収し、地権者並びにJAへの支払い事務を実施した。

6. 収益目的事業（公共施設等管理事業）

杵築市の景観・環境保全を目的とし、市道日出大田線ほか主要幹線の草刈り・維持管理及び各種公園施設の管理などを受託し、環境保全美化に努めた。あ

わせて住民の安全な暮らし、災害忌避を目的としてスズメバチ等の害虫駆除を実施した。

本年度については、路線が増えた市道除草作業や市有地除草作業では事業費が増加したが、害虫駆除が86件となり前年比76.1%に減少した外、毎年冬場に依頼があった支障木撤去作業がほとんどない状態となった。そのため、事業全体では請負金額ベースで前年比85.8%に減少した。

公共施設等管理事業は収益目的事業と位置付けられており、不採算部門である公益目的事業部門をより補っていけるよう努める外、住民や市役所からの支障木等に関する情報に迅速に対応し、杵築市における認知度を高めていく。

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	当会計期間末 (令和5年3月31日現在)	前会計期間末 (令和4年3月31日現在)	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	47,860	42,560	5,300	
普通預金	108,817,413	111,808,337	-2,990,924	
事業未収入金	25,024,274	20,965,359	4,058,915	52件：公益50件、収益2件
未収収益	435	162	273	4件：公益3件、法人1件
たな卸資産	9,832,328	10,944,658	-1,112,330	諸材料、原材料、仕掛品、製品
貯蔵品	10,296	14,800	-4,504	切手、収入印紙
立替金	18,200	5,200	13,000	エロ：マニファスト伝票
流動資産合計	143,750,806	143,781,076	-30,270	100.0%
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産定期預金(基)(指定)	30,000,000	30,000,000	0	市18000千円、JA12000千円
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0	100.0%
(2) 特定資産				
定期預金(特)(指定)	26,100,000	26,100,000	0	リ：14100千円、共通12000千円
構築物(特)(指・一)	24,756,031	24,756,031	0	の：資材一式、の：設備、の：被覆材外
車輛運搬具(特)(指・一)	15,714,494	15,714,494	0	マ：プロレクター外(7件)
機械装置(特)(指・一)	77,497,775	77,497,775	0	無人：RMAXType II G外(37件)
栽培特許料(特)(指・一)	615,000	615,000	0	晃花の富士外(2件)
機械・設備取得資金(特)(指・一)	30,388,615	27,830,140	2,558,475	特定資産取得・改良資金
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-97,019,379	-88,885,562	-8,133,817	49件
特定資産合計	78,052,536	83,627,878	-5,575,342	93.3%
(3) その他固定資産				
構築物	210,000	210,000	0	シャワーユニット
工具器具備品	43,050	43,050	0	代表者外印
機械装置	7,076,980	6,570,980	506,000	ハマナイ7外(16件)
電話加入権	152,880	152,880	0	2件
減価償却累計額(△)	-5,592,542	-5,281,329	-311,213	17件(工具器具備品、電話加入権除く)
その他固定資産合計	1,890,368	1,695,581	194,787	111.5%
固定資産合計	109,942,904	115,323,459	-5,380,555	95.3%
資産合計	253,693,710	259,104,535	-5,410,825	97.9%
II 負債の部				
1. 流動負債				
事業未払金	16,190,938	14,855,478	1,335,460	68件：公益56件、収益12件
未払金	797,128	1,055,729	-258,601	22件：公益12件、法人10件
預り金	134,919	192,306	-57,387	住民税、社会保険料等
仮受金	180,004	0	180,004	
賞与引当金	2,120,164	2,522,491	-402,327	
流動負債合計	19,423,153	18,626,004	797,149	102.0%
2. 固定負債				
退職給付引当金	21,163,100	25,715,000	-4,551,900	
固定負債合計	21,163,100	25,715,000	-4,551,900	82.3%
負債合計	40,586,253	44,341,004	-3,754,751	90.6%
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	16,147,250	21,753,906	-5,606,656	特定資産等導入補助金
寄付金	66,369,329	66,369,329	0	基本金、特定預金、普通預金
指定正味財産合計	82,516,579	88,123,235	-5,606,656	93.6%

貸借対照表

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	当会計期間末 (令和5年3月31日現在)	前会計期間末 (令和4年3月31日現在)	増 減	備 考
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)	基本財産
(うち特定資産への充当額)	(42,247,249)	(47,853,905)	(-5,606,656)	特定資産
2. 一般正味財産	(130,590,878)	(126,640,296)	(3,950,582)	
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)	(35,805,287)	(35,773,973)	(31,314)	特定資産
正味財産合計	213,107,457	214,763,531	-1,656,074	99.4%
負債及び正味財産合計	253,693,710	259,104,535	-5,410,825	97.9%

貸借対照表
(内訳表)
(令和5年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

会計名 会計全体

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益等 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	47,860	0	0		47,860
普通預金	88,991,166	12,704,316	7,121,931		108,817,413
事業未収入金	21,619,924	3,404,350	0		25,024,274
未収金	0		0		0
未収収益	424		11		435
たな卸資産	8,716,132	1,116,196			9,832,328
貯蔵品	9,456	420	420		10,296
他会計短期貸付金	273,908,220	40,199,174	0	-314,107,394	0
立替金	18,200	0	0		18,200
流動資産合計	393,311,382	57,424,456	7,122,362	-314,107,394	143,750,806
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産定期預金(基)(指定)			30,000,000		30,000,000
基本財産合計			30,000,000		30,000,000
(2) 特定資産					
定期預金(特)(指定)	26,100,000				26,100,000
構築物(特)(指・一)	24,756,031				24,756,031
車両運搬具(特)(指・一)	14,014,803	1,699,691			15,714,494
機械装置(特)(指・一)	77,497,775				77,497,775
栽培特許料(特)(指・一)	615,000				615,000
機械・設備取得資金(特)(指・一)	30,388,615				30,388,615
減価償却累計額(特)(指・一)(△)	-95,319,690	-1,699,689			-97,019,379
特定資産合計	78,052,534	2			78,052,536
(3) その他固定資産					
構築物	210,000				210,000
工具器具備品	10,500		32,550		43,050
機械装置	6,008,980	1,068,000			7,076,980
電話加入権			152,880		152,880
減価償却累計額(△)	-4,524,544	-1,067,998	0		-5,592,542
その他固定資産合計	1,704,936	2	185,430		1,890,368
固定資産合計	79,757,470	4	30,185,430		109,942,904
資産合計	473,068,852	57,424,460	37,307,792	-314,107,394	253,693,710
II 負債の部					
1. 流動負債					
事業未払金	14,341,663	1,849,275	0		16,190,938
未払金	577,525	0	219,603		797,128
預り金	134,919	0	0		134,919
仮受金	180,004	0	0		180,004
他会計短期借入金	281,807,601	0	32,299,793	-314,107,394	0
賞与引当金	2,120,164				2,120,164
流動負債合計	299,161,876	1,849,275	32,519,396	-314,107,394	19,423,153
2. 固定負債					
退職給付引当金	21,163,100				21,163,100
固定負債合計	21,163,100				21,163,100
負債合計	320,324,976	1,849,275	32,519,396	-314,107,394	40,586,253
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	16,147,250	0			16,147,250
寄付金	36,369,329		30,000,000		66,369,329
指定正味財産合計	52,516,579	0	30,000,000		82,516,579
(うち基本財産への充当額)			(30,000,000)		(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(42,247,249)	(0)			(42,247,249)
2. 一般正味財産	100,227,297	55,575,185	-25,211,604	0	130,590,878
(うち基本財産への充当額)					
(うち特定資産への充当額)	(35,805,285)	(2)			(35,805,287)
正味財産合計	152,743,876	55,575,185	4,788,396	0	213,107,457
負債及び正味財産合計	473,068,852	57,424,460	37,307,792	-314,107,394	253,693,710

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体 科目	当会計期間	前会計期間	増減	備考
	自 至 令和04年4月1日～ 令和05年3月31日	自 至 令和03年4月1日～ 令和04年3月31日		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	600	600		
基本財産運用益計	600	600		100.0%
特定資産運用益				
特定資産受取利息	931	884	47	
特定資産運用益計	931	884	47	105.3%
受取会費				
正会員受取会費	5,000,000	5,000,000		市300、JA200(山120、杵80)
受取会費計	5,000,000	5,000,000		100.0%
事業収益				
農地賃借収益	2,392,084	3,500,923	-1,108,839	
農地手数料収益	50,000	270,000	-220,000	
農地利用雑収益		5,531	-5,531	
農地利用集積円滑化事業収益計	2,442,084	3,776,454	-1,334,370	64.7%
耕起作業収益	279,152	161,034	118,118	営農法人増
畦塗り収益	1,137,268	969,865	167,403	営農法人増
荒水代掻収益	1,055,780	723,386	332,394	営農法人増
田植え作業受託収益	1,819,781	1,595,252	224,529	営農法人増
水稻収穫作業受託収益	5,966,703	4,953,329	1,013,374	天候による受注増
水稻裏作作業受託収益	11,872	12,950	-1,078	大豆播種減
農作業人夫使用料	476,080	27,000	449,080	ミカン、椎茸作業増
薬剤散布収益	9,476,479	10,555,671	-1,079,192	262ha：麦8ha稲254ha
その他農地保全管理収益	12,232,110	17,155,034	-4,922,924	草刈作業、森林組合等、水中ポンプ減
農地保全管理事業収益計	32,455,225	36,153,521	-3,698,296	89.8%
水稻苗生産収益	29,694,082	29,566,368	127,714	49,923枚97.9% 飼料米6192枚倉、食用減
野菜苗生産収益	6,845,204	8,261,642	-1,416,438	小社'出荷不可
花卉苗生産収益	9,476,544	9,706,938	-230,394	ワシ'苗'苗105.8%、オズ'苗80.2%
育苗雑収益	11,542,139	633,292	10,908,847	'ワコ'管理料、生薬-その他雑収
高次元農業推進事業収益計	57,557,969	48,168,240	9,389,729	119.5%
堆肥供給収益	18,667,054	15,570,396	3,096,658	7ルコン・バ'ラ88.0%、小袋131.4%
受託収益	4,381,230	4,219,782	161,448	7配92.5%、散80.1%、小配123.9%
家畜糞尿処理請負収益	3,148,101	2,757,192	390,909	116.5%
エコラント'事業雑収益	105,900	8,800	97,100	初穀残渣処理料外
山香'グリーンエコラント'事業収益計	26,302,285	22,556,170	3,746,115	116.6%
杵築'リース農園事業収益計				-%
公共施設等管理作業収益	22,881,770	26,677,413	-3,795,643	.選挙看板、支障木除去縁廻除等減
収益事業収益計	22,881,770	26,677,413	-3,795,643	85.8%
事業雑収益	355,520		355,520	ド'ロ'ン受取保険金
事業収益計	141,994,853	137,331,798	4,663,055	103.4%
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	672,094	1,624,390	-952,296	多面広域事務補助金
振替：受取地方公共団体補助金	5,606,656	5,813,795	-207,139	指定正味財産からの振替額
受取国庫助成金	403,100		403,100	ド'ロ'ン資格取得補助金
受取地方公共団体助成金	100,000	300,000	-200,000	
受取補助金等計	6,781,850	7,738,185	-956,335	87.6%
雑収益				
受取利息	1,128	1,086	42	
その他雑収益	1,820,000	9,049,210	-7,229,210	各事業収益へ
雑収益計	1,821,128	9,050,296	-7,229,168	20.1%
経常収益計	155,599,362	159,121,763	-3,522,401	97.8%
(2) 経常費用				
事業費				

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体 科目	当会計期間		増減	備考
	自 至	自 至		
	令和04年4月1日～ 令和05年3月31日	令和03年4月1日～ 令和04年3月31日		
(集積)農地賃借費	2,392,071	3,500,910	-1,108,839	
(集積)事業雑費		5,531	-5,531	
農地集積円滑化事業費計	2,392,071	3,506,441	-1,114,370	68.2%
(保全)諸材料費	2,724,113	4,863,384	-2,139,271	水中ポンプ資材、刈草削減
(保全)機械賃借費		118,910	-118,910	
(保全)その他作業委託費	1,715,050	2,346,240	-631,190	刈散布委託減
(保全)事業雑費		2,420	-2,420	
農地保全管理事業費計	4,439,163	7,330,954	-2,891,791	60.6%
(高次)種苗費	6,058,072	6,356,150	-298,078	水稻種子持込増→購入減
(高次)肥料費	634,925	289,329	345,596	
(高次)農薬費	591,121	920,397	-329,276	
(高次)諸材料費	6,839,926	5,260,332	1,579,594	水稻培土、チェーンボット等
(高次)委託栽培費	297,983	213,238	84,745	
(高次)出荷経費	830,307	2,353,922	-1,523,615	小科'出荷不可→出荷経費減
(高次)事業雑費	178,646	199,550	-20,904	苗箱洗浄作業委託等
高次元農業推進事業費計	15,430,980	15,592,918	-161,938	99.0%
(eco)原材料	187,051	254,629	-67,578	刈草
(eco)諸材料費	1,867,635	712,652	1,154,983	小袋用袋
(eco)燃料費	731,552	556,710	174,842	作業機燃料
(eco)動力光熱費	2,037,212	1,870,588	166,624	電気料
(eco)作業委託費	3,299,513	4,227,935	-928,422	場内作業・配達応援外
(eco)eco推進活動費	133	-735	868	
(eco)堆肥化雑費	15,400	31,680	-16,280	
山香グリーンエコノト`事業費計	8,138,496	7,653,459	485,037	106.3%
杵築リース受託事業費計				-%
(公共)作業委託費	619,246	387,000	232,246	除草作業委託増
(公共)請負委託仕入	247,934	353,180	-105,246	害虫駆除削減
公共施設等管理事業費計	867,180	740,180	127,000	117.2%
事業原価計	31,267,890	34,823,952	-3,556,062	89.8%
(事)給料手当	61,493,088	60,009,443	1,483,645	30名(職7嘱3臨5P15)
(事)退職給付費用	1,590,100	2,116,700	-526,600	
(事)法定福利費	8,434,860	8,367,025	67,835	社会保険、労働保険
(事)福利厚生費	1,948,157	1,695,516	252,641	中退共外
(事)賞与	2,120,164	2,522,491	-402,327	
人件費計	75,586,369	74,711,175	875,194	101.2%
(事)消耗品費	2,553,847	2,608,977	-55,130	各事業：事務、用具等
(事)宣伝広告費	140,675	133,650	7,025	エコ：供給推進費
(事)通信運搬費	690,273	666,296	23,977	各事業：電話、切手代
(事)図書研修費	12,000	1,324,347	-1,312,347	エコ：産廃講習、ドローン教育減
(事)事務委託費	2,162,236	2,181,989	-19,753	各振込手数料
(事)租税公課	9,114,473	8,815,589	298,884	各事業：印紙、自動車、固定資産税外
(事)会費分担金	21,000	19,000	2,000	高次：ふれあい、小科'部会費
(事)保守修繕費	5,929,406	5,102,025	827,381	E-27-377、パワーステアリングコンパイン
(事)保険料	1,846,690	1,871,688	-24,998	施設、農機等、傷害
(事)水道光熱費	2,155,829	1,713,056	442,773	各事業：水道、電気
(事)賃借料	1,266,769	1,320,762	-53,993	水稻苗、刈車両外
(事)消耗什器備品費	879,855	1,316,409	-436,554	乗座移植機、フリンター(エコ)、多面シフト減
(事)車輛費	1,839,636	2,558,164	-718,528	各事業：車検、整備費外修理
(事)施設管理費	742,044	742,044		高次・エコ：電気保安、警備保障
(事)燃料費	3,757,120	3,607,602	149,518	機械、設備燃料
(事)減価償却費	8,445,030	8,627,211	-182,181	19種：特定14種、その他5種
(事)支払寄付金	619,182		619,182	エコノト'指定管理納入金
(事)雑費	139,140	244,383	-105,243	ガム使用料、ETC使用料等
その他事業経費計	42,315,205	42,853,192	-537,987	98.7%
事業費合計	149,169,464	152,388,319	-3,218,855	97.9%

正味財産増減計算書

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター

(単位：円)

会計名：会計全体 科目	当会計期間	前会計期間	増減	備考
	自 令和04年4月1日～ 至 令和05年3月31日	自 令和03年4月1日～ 至 令和04年3月31日		
管理費				
(管) 給料手当	743,260	1,949,411	-1,206,151	
(管) 法定福利費	137,246	378,138	-240,892	
(管) 福利厚生費	52,878	50,395	2,483	
人件費計	933,384	2,377,944	-1,444,560	39.3%
(管) 会議費	5,271	5,661	-390	理事会・総会費用
(管) 消耗品費	163,115	114,000	49,115	事務消耗品
(管) 宣伝広告費	5,000		5,000	
(管) 通信運搬費	63,531	71,296	-7,765	通信、切手
(管) 図書研修費	35,976	35,976		新聞
(管) 事務委託費	890,381	845,030	45,351	会計指導、税理士・社労士報酬、外
(管) 租税公課	51,200	23,800	27,400	重量税
(管) 会費分担金	12,000	32,000	-20,000	安全運転管理
(管) 保守修繕費	158,581	162,310	-3,729	ネットワーク(インターネット)機器、外
(管) 保険料	55,640	32,032	23,608	傷害保険、自動車保険
(管) 水道光熱費	79,425	67,588	11,837	
(管) 賃借料	154,279	154,736	-457	複合機、会計ソフト
(管) 消耗什器備品費	18,844	9,100	9,744	
(管) 車輛費	233,100	49,335	183,765	車検
(管) 施設管理費	212,659	228,829	-16,170	警備保障、ゴミ収集、外
(管) 燃料費	70,870	69,117	1,753	車輛燃料
(管) 旅費交通費	76,000	92,000	-16,000	役員費用弁償
(管) 雑費	30,060	14,351	15,709	
その他管理費計	2,315,932	2,007,161	308,771	115.4%
管理費合計	3,249,316	4,385,105	-1,135,789	74.1%
経常費用計	152,418,780	156,773,424	-4,354,644	97.2%
評価損益等調整前当期経常増減額	3,180,582	2,348,339	832,243	135.4%
当期経常増減額	3,180,582	2,348,339	832,243	135.4%
2. 経常外増減の部				
その他の経常外収益				
退職給付引当金取崩額	1,202,800		1,202,800	
その他の経常外収益計	1,202,800		1,202,800	
経常外収益合計	1,202,800		1,202,800	
(2) 経常外費用				
経常外費用合計				
当期経常外増減額	1,202,800		1,202,800	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	4,383,382	2,348,339	2,035,043	186.7%
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額	4,383,382	2,348,339	2,035,043	186.7%
法人税、住民税及び事業税	432,800	618,700	-185,900	
当期一般正味財産増減額	3,950,582	1,729,639	2,220,943	228.4%
一般正味財産期首残高	126,640,296	124,910,657	1,729,639	101.4%
一般正味財産期末残高	130,590,878	126,640,296	3,950,582	103.1%
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
受取地方公共団体補助金		1,000,000	-1,000,000	
受取補助金等計		1,000,000	-1,000,000	
一般正味財産への振替額	5,606,656	5,813,795	-207,139	96.4%
当期指定正味財産増減額	-5,606,656	-4,813,795	-792,861	116.5%
指定正味財産期首残高	88,123,235	92,937,030	-4,813,795	94.8%
指定正味財産期末残高	82,516,579	88,123,235	-5,606,656	93.6%
III 正味財産期末残高	213,107,457	214,763,531	-1,656,074	99.2%

正味財産増減計算書 (内訳集計表)

法人名 公益社団法人千葉県地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

(自) 令和4年 4月 1日 ~ (至) 令和5年 3月 31日 現在

科目	公益目的事業会計					小計	法人会計	合計
	農地利用集積 円滑化事業	農地保全管理 事業	高次元農業推 進事業	山香がリージョナル ト事業	杵築リース農園事 業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益								600
基本財産受取利息								600
基本財産運用益計								600
特定資産運用益								
特定資産受取利息				282				931
特定資産運用益計				282				931
受取会費								
正会員受取会費					2,500,000			2,500,000
受取会費計					2,500,000			2,500,000
事業収益								
農地賃借収益	2,392,084							2,392,084
農地手数料収益	50,000							50,000
農地利用集積円滑化事業収益計	2,442,084							2,442,084
耕起作業収益		279,152						279,152
畦塗り収益		1,137,268						1,137,268
荒水代権収益		1,055,780						1,055,780
田植え作業受託収益		1,819,781						1,819,781
水稲収穫作業受託収益		5,966,703						5,966,703
水稲専用作業受託収益		11,872						11,872
農作業人夫使用料		476,080						476,080
薬剤散布収益		9,476,479						9,476,479
その他農地保全管理収益		12,232,110						12,232,110
農地保全管理事業収益計		32,455,225						32,455,225
水稲苗生産収益		29,694,082						29,694,082
野菜苗生産収益		6,845,204						6,845,204
花卉苗生産収益		9,476,544						9,476,544
育苗雑収益		11,542,139						11,542,139
高次元農業推進事業収益計		57,557,969						57,557,969
堆肥供給収益		18,667,054						18,667,054
受託収益		4,381,230						4,381,230
家畜糞尿処理請負収益		3,148,101						3,148,101
エコファクト事業雑収益		105,900						105,900
山香がリージョナル事業収益計		26,302,285						26,302,285
杵築リース農園事業収益計								
公共施設等管理作業収益								
収益事業収益計		355,520						355,520
事業雑収益								
事業収益計	2,442,084	32,810,745	57,557,969	26,302,285				119,113,083
受取補助金等								
受取地方公共団体補助金								
振替:受取地方公共団体補助金		638,008	34,086					672,094
		1,755,731	1,898,975	1,951,950				5,606,656

正味財産増減計算書 (内訳集計表)

法人名 公益社団法人千葉県地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

(自) 令和4年 4月 1日 ～ (至) 令和5年 3月 31日 現在

科目	公益目的事業会計					小計	法人会計	合計
	農地利用集積 円滑化事業	農地保全管理 事業	高次元農業推 進事業	山香アグロエコノ ム事業	杵築リノエ農園事 業			
受取国庫助成金	100,000	403,100				403,100		403,100
受取地方公共団体助成金	100,000	2,796,839	1,933,061	1,951,950		100,000		100,000
受取補助金等計	100,000	2,796,839	1,933,061	1,951,950		6,781,850		6,781,850
雑収益								
受取利息	31	220	272	159		1,061	67	1,128
その他雑収益						1,820,000		1,820,000
雑収益計	31	220	272	159		1,821,061	67	1,821,128
經常収益計	2,542,115	35,607,804	59,491,302	28,254,394	282	130,216,925	22,881,770	155,599,362
事業費								
(集積)農地賃借費	2,392,071					2,392,071		2,392,071
農地集積円滑化事業費計	2,392,071					2,392,071		2,392,071
(保全)諸材料費		2,724,113				2,724,113		2,724,113
(保全)その他作業委託費		1,715,050				1,715,050		1,715,050
農地保全管理事業費計		4,439,163				4,439,163		4,439,163
(高次)種苗費			6,058,072			6,058,072		6,058,072
(高次)肥料費			634,925			634,925		634,925
(高次)農薬費			591,121			591,121		591,121
(高次)諸材料費			6,839,926			6,839,926		6,839,926
(高次)委託栽培費			297,983			297,983		297,983
(高次)出荷経費			830,307			830,307		830,307
(高次)事業雑費			178,646			178,646		178,646
高次元農業推進事業費計			15,430,980			15,430,980		15,430,980
(eco)原材料			187,051			187,051		187,051
(eco)諸材料費			1,867,635			1,867,635		1,867,635
(eco)燃料費			731,552			731,552		731,552
(eco)動力光熱費			2,037,212			2,037,212		2,037,212
(eco)作業委託費			3,299,513			3,299,513		3,299,513
(eco)eco推進活動費			133			133		133
(eco)堆肥化雑費			15,400			15,400		15,400
山香アグロエコノム事業費計			8,138,496			8,138,496		8,138,496
杵築リノエ受託事業費計								
(公共)作業委託費							619,246	619,246
(公共)請負委託仕入							247,934	247,934
公共施設等管理事業費計							867,180	867,180
事業原価計							867,180	867,180
(事)給料手当							30,400,710	31,267,890
(事)退職給付費用							50,702,570	61,493,088
(事)法定福利費							7,585,563	10,790,518
(事)福利厚生費							1,590,100	1,590,100
(事)賞与							1,421,813	1,441,014
人件費計							7,293,846	8,434,860
(事)消耗品費							410,589	1,948,157
(事)宣伝広告費							1,916,398	2,120,164
							12,924,463	12,409,198
							63,177,171	75,586,369
							1,505,630	2,553,847
							140,675	140,675

正味財産増減計算書
(内訳集計表)

法人名 公益社団法人千葉県地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

(自) 令和4年 4月 1日 ~ (至) 令和5年 3月 31日 現在

科目	公益目的事業会計					小計	共通	法人会計	合計
	農地利用集積 円滑化事業	農地保全管理 事業	高次元農業推 進事業	山香アリーナコッ ト事業	杵築リース農園事 業				
(事) 通信運搬費	21,647	228,642	128,296	206,968		605,399	19,846		690,273
(事) 図書研修費									12,000
(事) 事務委託費	600	29,300	11,286	1,851,670		2,026,066	133,210		2,162,236
(事) 租税公課		1,980,279	3,093,214	2,256,594		7,364,587	34,500		9,114,473
(事) 会費分担金			21,000			21,000			21,000
(事) 保守修繕費	3,135	2,533,258	1,332,286	1,424,789		5,399,686	106,218		5,929,406
(事) 保険料	9,966	1,028,317	295,086	253,381		1,586,750			1,846,690
(事) 水道光熱費	1,620	24,213	2,053,861	46,776		2,136,706	10,236		2,155,829
(事) 賃借料	286	468,697	484,599			1,109,391	155,809		1,266,769
(事) 消耗什器備品費		4,325	578,598	112,352		733,555	38,280		879,855
(事) 車輛費		382,062	270,510	836,642		1,489,214			1,839,636
(事) 施設管理費			249,000	350,444		670,744	71,300		742,044
(事) 燃料費	13,415	992,367	826,390	602,553		2,434,725			3,757,120
(事) 減価償却費		3,298,602	2,999,283	2,147,145		8,445,030			8,445,030
(事) 支払寄付金				619,182		619,182			619,182
(事) 雑費		5,480	120,620	13,040		139,140			139,140
その他事業経費計	50,669	11,191,665	13,418,653	11,087,160		36,427,480	679,333		42,315,205
事業費合計	3,731,485	32,982,845	53,909,571	25,777,664		130,005,361	13,603,796		149,169,464
管理費									
(管) 給料手当									743,260
(管) 法定福利費									137,246
(管) 福利厚生費									52,878
人件費計									933,384
(管) 会議費									5,271
(管) 消耗品費									163,115
(管) 宣伝広告費									5,000
(管) 通信運搬費									63,531
(管) 図書研修費									35,976
(管) 事務委託費									890,381
(管) 租税公課									51,200
(管) 会費分担金									12,000
(管) 保守修繕費									158,581
(管) 保険料									55,640
(管) 水道光熱費									79,425
(管) 賃借料									154,279
(管) 消耗什器備品費									18,844
(管) 車輛費									233,100
(管) 施設管理費									212,659
(管) 燃料費									70,870
(管) 旅費交通費									76,000
(管) 雑費									30,060
その他管理費計									2,315,932
管理費合計									3,249,316

**正味財産増減計算書
(内訳集計表)**

法人名 公益社団法人千葉県地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

(自) 令和4年 4月 1日 ～ (至) 令和5年 3月 31日 現在

科目	公益目的事業会計							小計	法人会計	合計
	農地利用集積 円滑化事業	農地保全管理 事業	高次元農業推 進事業	山香?リー?コフ ト事業	杵築リー?農園事 業	共通	収益等事業会 公共施設管理 事業			
経費用計	3,731,485	32,982,845	53,909,571	25,777,664	282	13,603,796	19,164,103	3,249,316	152,418,780	
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,189,370	2,624,959	5,581,731	2,476,730	282	-9,282,768	3,717,667	-748,649	3,180,382	
当期経常増減額	-1,189,370	2,624,959	5,581,731	2,476,730	282	-9,282,768	3,717,667	-748,649	3,180,382	
2. 経常外増減の部 (1) 経常外収益 その他の経常外収益 退職給付引当金取崩額 その他の経常外収益計										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
その他の経常外費用計										
経常外費用合計										
当期経常外増減額										
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-1,189,370	2,624,959	5,581,731	2,476,730	282	-8,079,968	3,717,667	-748,649	4,383,382	
他会計振替額						1,650,111	-1,650,111			
税引前当期一般正味財産増減額	-1,189,370	2,624,959	5,581,731	2,476,730	282	-6,429,857	2,067,556	-748,649	4,383,382	
法人税、住民税及び事業税							361,800	71,000	432,800	
当期一般正味財産増減額	-1,189,370	2,624,959	5,581,731	2,476,730	282	-6,429,857	1,705,756	-819,649	3,950,582	
一般正味財産期首残高	6,501,307	89,219,306	99,979,475	5,263,950	27,457	-103,828,673	53,869,429	-24,391,955	126,640,296	
一般正味財産期末残高	5,311,937	91,844,265	105,561,206	7,740,680	27,739	-110,258,530	55,575,185	-25,211,604	130,530,878	
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額		1,755,731	1,898,975	1,951,950					5,606,656	
当期指定正味財産増減額		-1,755,731	-1,898,975	-1,951,950					-5,606,656	
指定正味財産期首残高		6,358,933	4,022,248	11,372,725	14,100,000	22,269,329	58,123,235	30,000,000	88,123,235	
指定正味財産期末残高		4,603,202	2,123,273	9,420,775	14,100,000	22,269,329	52,516,579	30,000,000	82,516,579	
III 正味財産期末残高	5,311,937	96,447,467	107,684,479	17,161,455	14,127,739	-87,989,201	55,575,185	4,788,396	213,107,457	

財産目録
(場所、物量等)
(令和5年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
【資産の部】			
I 流動資産			
現金	手元保管	公1:運転資金として公1¥47,860	47,860
普通預金(一般:公益共通、収益、法人) ※当該預金残高は、当科目とその他の積立資産(機械・設備等取得資金)を合算した額である。	JAおおいた山香支店	公1:収1、法人会計の共通財産口座No:0001015 公1:運転資金として ¥15,047,240 (うち公益事業に使用する寄付金 ¥10269329) 収1:運転資金として ¥12,704,316 法人:運転資金として ¥0	27,751,556
普通預金(作業受委託:農地保全)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0001651	25,068,614
普通預金(育苗:高次元)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0001805	9,593,583
普通預金(公益:共通)	大分県信用組合	公1:運転資金として 口座No:4008638	1,296,985
普通預金(法人)	大分銀行山香支店	法人:運転資金として 口座No:5028035	2,123,050
普通預金(法人)	ゆうちょ郵貯銀行	法人:運転資金として 口座No:17200-18584731	4,998,881
普通預金(高次元)	JAべっぶ日出亀川駅前支店	公1:運転資金として 口座No:0021111	440,483
普通預金(高次元)	JAべっぶ日出日出支店	公1:運転資金として 口座No:0011743	6,092,951
普通預金(高次元)	JAおおいた杵築支店	公1:運転資金として 口座No:0032043	6,209,223
普通預金(農地:集積)	JAおおいた杵築市店	公1:運転資金として 口座No:0032214	2,562,370
普通預金(杵築:保全)	JAおおいた杵築支店	公1:運転資金として 口座No:0043423	5,986,281
普通預金(eco)	JAおおいた山香支店	公1:運転資金として 口座No:0005606	16,570,581
普通預金(リース特会)	JAおおいた杵築支店LE	公1:運転資金として 口座No:0032203	122,855
普通預金計			108,817,413
預金計			108,817,413
事業未収入金(集積)	農地利用集積円滑化	公1:農地貸借に関する未収金	260,030
事業未収入金(保全)	農地保全管理	公1:農地保全に関する未収金	1,568,459
事業未収入金(高次)	高次元農業推進	公1:育苗に関する未収金	12,335,313
事業未収入金(eco)	山香ク ^レ リンエコラント ^ド	公1:家畜糞尿処理・堆肥化に関する未収金	4,935,019
事業未収入金(リース)	杵築リース農園	公1:リース農園使用に関する未収金	2,521,103
事業未収入金(収益:公共)	公共施設等管理	収1:収益活動に関する未収金	3,404,350
事業未収入金計			25,024,274
未収収益		公1:定期預金(特定資産)未収利息 ¥424 法人:定期預金(基本財産)未収利息 ¥11	435
棚卸資産:諸材料		公1:農地保全・高次元・堆肥、収1に関する棚卸資産	3,613,167
棚卸資産:原材料		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	2,310
棚卸資産:仕掛品		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	2,001,364
棚卸資産:製品		公1:堆肥化処理に関する棚卸資産	4,215,487
たな卸資産計			9,832,328
貯蔵品:切手	手元保管	公1:¥8,856、収1:¥420、法人:¥420	9,696
貯蔵品:収入印紙	手元保管	公1:農地利用集積、エコラント使用	600
貯蔵品計			10,296
立替金		公1:大分県産業廃棄物処理業協会・処理伝票	18,200
流動資産合計			143,750,806
II 固定資産			
1 基本財産			
基本財産定期預金(基)	JAおおいた山香支店	法人の運転資金の財源とするため保有運用益を管理費の財源として使用 口座No:00677466	30,000,000
基本財産合計			30,000,000
2 特定資産			
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的費用の財源として使用 口座No:06019161	12,000,000
定期預金(特)(指定)	JAおおいた杵築支店	公益目的保有財産であり、リース農園事業費用に備えたもの 口座No:07336715	14,100,000
特定資産定期預金計(特)			26,100,000
構築物(特)(指・一)	ハウス設備	公1:公益目的事業に使用	24,756,031
車輛運搬具(特)(指・一)	軽トラック、軽箱バン、マニアスプレッター	公1:公益目的事業に使用 ¥14,014,803 収1:収益目的事業に使用 ¥1,699,691	15,714,494
機械装置(特)(指・一)	産業用無人ヘリコプター、田植機、コンバインほか	公1:公益目的事業に使用	77,497,775
栽培特許料(特)(指・一)	輪菊栽培特許料	公1:公益目的事業に使用	615,000

財 産 目 録
(場 所、物 量 等)
(令和5年3月31日現在)

法人名 公益社団法人杵築市地域活性化センター
会計名 会計全体

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
機械・設備取得資金(特)(指・一)	特定資産取得・改良資金 JAおおいた山香支店	特定資産所得・改良資金として積み立てる資産であり、資産取得資金として管理されている。 公1:定期預金 口座No:09671131 ¥27,324,140	30,388,615
減価償却累計額(特)(指・一)(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-91,960,223 取1:収益目的使用資産減価償却 ¥-1,699,689	-97,019,379
特定資産合計			78,052,536
3 その他固定資産			
構築物	シェアユニット	公1:公益目的事業に使用	210,000
工具器具備品		公1:公益目的事業に使用 ¥10,500 法人:管理目的として使用 ¥32,550	43,050
機械装置	育苗台車、ディスプレイモニター ハンマーナイフ	公1:公益目的事業に使用 ¥6,008,980 取1:収益目的事業に使用 ¥1,068,000	7,076,980
電話加入権	2回線	法人:管理目的として使用	152,880
減価償却累計額(△)		公1:公益目的使用資産減価償却 ¥-4,365,922 取1:資産減価償却 ¥-1,067,998	-5,592,542
その他固定資産合計			1,890,368
固定資産合計			109,942,904
資産合計			253,693,710
【負債の部】			
I 流動負債			
事業未払金(集積)	農地賃借料ほか	公1:農地貸借に関わる未払金	288,095
事業未払金(保全)	修繕費ほか	公1:農地保全に関わる未払金	1,307,409
事業未払金(高次)	諸材料ほか	公1:育苗に関わる未払金	6,297,337
事業未払金(eco)	通信運搬費	公1:家畜糞尿堆肥化処理に関わる未払金(直接)	628,230
事業未払金(リース)	施設更新料ほか	公1:リース農園使用に関わる未払金	2,633,877
事業未払金(公益:共通)	法定福利費ほか	公1:公益目的共通に関わる未払金	3,186,715
事業未払金(収益:公共)		取1:収益活動に関わる未払金	1,849,275
事業未払金計			16,190,938
管理外(法人)		法人会計に関わる未払金	219,603
エロラント*	車輛費ほか	公1:家畜糞尿堆肥化処理に関わる未払金(立替)	577,525
未払金計			797,128
預り金	源泉徴収税、住民税	公1に関わる預り金	134,919
仮受金	土地、施設償還金、外		180,004
賞与引当金	職員に係るもの		2,120,164
流動負債合計			19,423,153
II 固定負債			
退職給付引当金		公1:退職給付引当金	21,163,100
固定負債合計			21,163,100
負債合計			40,586,253
正味財産			213,107,457

令和5年度

株式会社 きつとすき
事業計画書

杵築市

令和 5 年度事業計画

令和 5 年度は「設立 6 期目」を迎え、6 月の株主総会にて任期満了による社長の交代が承認された。この 5 年で築いてきた経営基盤を、新体制の下でさらに強化し、「事業者の方にさらに頼られる存在、杵築市の方により信頼される存在」となり、会社のミッションである「杵築市の経済の活性化への貢献」に積極的に取り組んでいきたい。

令和 5 年度も、全社一丸となって「収益性」「公益性」「持続性」の地域商社の 3 大存在意義を意識しながら、3 事業部は以下の具体的業務に邁進する。

【流通事業部】

3 年計画で商工観光課様から受託している「食のマイクロツーリズム」事業の 3 年目として、昨年度までに開発した業務用加工品の近隣商業施設への拡販を行い、それをフックとした杵築市へのさらなる観光誘客を図る。また、昨年度までに開発した業務用加工品の異なる味の商品を作る等の簡易的な商品開発もしくは昨年度までに開発した業務用加工品のブラッシュアップを必要に応じて行う。

設定された KPI は販売先数、販売額、杵築への誘客数の 3 項目で、事業最終年度の本年は昨年度から大幅に伸長させる必要がある為、目標をクリアすべく鋭意努力を重ねたい。

また、今期は新たな自主事業がスタート予定である。10 月オープン予定の（株）トラストバンクが運営する通販サイト「めいぶつチョイス」への杵築市各事業者の出店を「きっとすき」が一元管理することとなった。各事業者の出店支援、新商品開発支援及び 10 月以降の販売支援を、杵築市と連携しながら「きっとすき流通事業部」が今まで培った通販のノウハウを活かしながら、効果的かつ効率的なサポートを行っていきたい。

「めいぶつチョイス」スタートに向け、本年度 7 月末より流通事業部は社員 2 名体制で業務推進を行っている。

【ふるさと納税事業部】

商工観光課からの以下の委託事業遂行を通して、寄附受付、ポータルサイトの運用、寄附情報の管理、返礼品提供事業者への発注及び配送管理、各種関連書類の作成、発送などの業務を行う。

また、返礼品開発支援や新規事業者の開拓、広告制作、各種プロモーションの実施を行い、安定的な寄附額の維持を図り、引き続き杵築市財政に貢献していきたい。

1. ふるさと納税包括代行業務
2. ふるさと納税関連書類発送等業務

特記事項として、10月にオープン予定の「めいぶつチョイス」への参画を通して（株）トラストバンクとこれまで以上に強固な関係性を築き、姉妹サイトである「ふるさとチョイス」との連携施策も推進することで、寄付額の拡大に繋げていきたい。

【ドローン事業部】

令和4年度、国への機体登録及び国家免許資格制度導入にてドローンを取り巻く環境も大きく変化いたしました。それを好機と捉えドローン撮影事業、国・県・市の補助事業への参画、杵築市へのスクール誘致及びスクールとの連携にて収益化を目指す。

新しい教育旅行の形態として、ドローン操縦及びプログラミング体験でのキャリア教育プランを充実させ、コンテンツとしてのドローンに注目して頂き、杵築市への修学旅行誘致に努め、杵築市観光に寄与していく。

過去、杵築市で行ったドローン物流実証事業を社会実装できる取り組みを大分県と連携して行う。

以上

令和5年度

株式会社 きつとすき

予 算 書

市 築 杵

令和5年度株式会社きっとすき予算

【売上】

単位：千円

種別	事業内容	金額
委託	ふるさと納税事業部	38,814
委託	流通事業部	9,097
自主	流通事業部	19,121
自主	ドローン事業部	5,500
	①合計	72,532

【支出】

単位：千円

種別	項目	金額
委託	ふるさと納税事業部	3,814
委託	流通事業部	2,270
自主	流通事業部	15,948
自主	ドローン事業部	1,500
経費	長期未払金	1,344
	支払手数料	60
	諸会費	52
	役員報酬	7,500
	給料手当	24,480
	法定福利費	4,703
	厚生費	388
	研修費	240
	リース料	66
	地代家賃	312
	事務用消耗品費	445
	通信費	455
	租税公課	75
	接待交際費	600
	保険料	77
	備品消耗品費	421
	管理諸費	588
	車両費	180
	雑費	115
	水道光熱費	576
	支払利息	108
	労働保険	350
	修繕	12
旅費交通費	300	
寄付金	0	
広告宣伝費	1,000	
	経費合計	44,447
	②合計	67,979

	経常利益①-②	4,553
--	---------	-------

令和4年度

株式会社 きつとすき
事業報告書

杵築市

令和4年度報告
自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

株式会社きっとすきの第5期は「流通事業部」「ふるさと納税事業部」が市の商工観光課からの委託事業と商社自らが企画・実施する「自主事業」に、「ドローン事業部」は大分県からの委託事業と「自主事業」にそれぞれ取り組んだ。

I. 流通事業部

1. 委託事業

i. 商工観光課委託業務

1) 杵築ブランド認定品バイヤーズガイドの作製

<事業の目的>

県内外の量販店や百貨店および商社のバイヤー、また消費者に対する杵築ブランドおよび杵築ブランド認定品（以下、認定品という）の認知度向上、販路拡大を図るために、令和4年12月時点における認定品の掲載カタログを、商談等にも使用できる内容で制作する。

<実施概要>

1. 撮影

令和4年度に新たに杵築ブランドに認定された4品目の写真撮影に必要な認定品等の手配を地域商社が行い、杵築市の株式会社森美が監修のもと撮影を行った。

2. デザイン

内容：新たに追加する4ページを加えた全体の並べ替え、その4ページに関する掲載写真の選定、キャッチコピーおよびボディコピーの作成、商品インデックスの作成を行った。また、昨年度までの掲載内容で変更が必要な点に関する修正を行った。

3. 校正

内容：入稿したデータに関して、文字校正・色校正を行った。

4. 制作物

部数 : 1,000 部

用紙 : マットコート 〈110〉

仕様 : A5 判フルカラー40 頁

印刷 : オフセットカラー印刷

仕上げ : 中綴じ製本

2) 食のマイクロツーリズム事業

市内で生産量が豊富な一次産品の規格外品を使用した業務用商材を開発し、県内観光地のホテルや飲食店等に販売する事によって、業務用商材の原料の生産に携わる人々の収入増大に寄与する事、県内観光地を訪れた観光客が業務用商材を使用した料理やデザート等を食べる事によって市の魅力を発見し、さらにそれを契機として市に立ち寄る事によって、市内事業者への経済的な波及効果をもたらす事を目的として、本事業を実施した。

【業務用商材の開発】

まず、昨年度の本事業で開発した『美娘ミルクアイス（美娘の果汁と大分のブランド牛乳“ゆふいんの薫り”を使用）』とは異なる味わいの、柑橘を使用したアイスの開発を目指して、市内で生産される柑橘の集荷事業者である柑橘選果場やアイスの製造委託先であるフードスタッフ、市内で柑橘を加工しているオレンジ農園と調整し、果汁を60%使用した『不知火シャーベット』を開発した。オレンジ農園には、一次加工として原料の不知火を果汁にする工程を委託した。

昨年度の本事業では、技術的な理由からいちごを使用した業務用商材の開発を断念したが、中津市の加工業者ムクノが質の高いいちごピューレを製造しているという情報を入手し、技術的な課題を解決できる事が判明した為、いちごの集荷事業者であるJA園芸課やJA園芸課に納品される規格外いちごの全量を購入しているサンヨーフーズと調整し、いちごピューレの開発を進めた。『いちごピューレ』を普段から使用している市内の飲食店等に協力を仰ぎ、試作品の品質に問題がない事を確認した後、製造工程や製品の量目等について、製造委託先のムクノと最終的な調整を行い、『さがほのかピューレ』が完成した。

この他、柑橘の果汁を使用したシロップの開発を目指したが、様々な理由により完成には至らなかった。

【業務用商材の販路開拓ならびに取引】

販路開拓を進めるにあたり、まずは商談に使用するためのPOPやレシピ、昨年度の本事業において売り込み先から要望があった個食用パッケージを作成した。

個別の商談では、ホテル・飲食店等 10 軒に対して、それぞれの特性に合った業務用商材を 16 回にわたって売り込み、商談後にサンプルの再提出や見積価格の見直し、電話でのやり取り等の必要が生じた場合は、適宜対応した。これにより新たに 4 軒のホテル・飲食店と取引が始まった。昨年度開拓した 2 軒と合わせて、本年度は 6 軒のホテル・飲食店等に対して、新たに開発した 2 品を含めた業務用商材 5 品を販売した。商談を実施したものの取引には至らなかった業務用商材も多くあったが、その理由のほとんどが、①既存の商材から切替える必要がない、②新型コロナによる人手不足でメニューの開発や入替えが難しい、③冷凍品は在庫置場を確保する事が難しい、という内容に集約された。柑橘やいちごは、加工品ではなく、規格外品をそのまま欲しい、という意見も少なくなかった。

この他、販路開拓の一環として、福岡市のマリンメッセ福岡で 11 月に開催された展示会 FOOD STYLE 2022 に出展した。ブースに訪れた CMG に、サンプルと見積りを後日送付し、納品形態やロットを要望に応じて調整した結果、来夏の『美娘ミルクアイス』と『不知火シャーベット』の取扱いについて確約をもらった。

【業務用商材を核とした市内への観光客誘致】

まず、昨年度の本事業で作成した市内への観光客誘致プログラムを、4～5 月にかけて試験的に実施し、その効果測定および改善点の洗い出しを行った。同期間に実施したプログラムでは、21 名の誘客を測定し、概ね期待値通りであったが、観光客がクーポンを使用できる期限および参加店舗がクーポンを換金できる期限を長めに設定する必要性を実感した。また、クーポン券には、クーポンの加盟店マップおよび加盟店一覧を確認するための QR コードを記載していたが、そのリンク先の視認性が悪いことが判明したため、新たに実施するプログラムではこれらを改善した。

新たに配布するクーポンの参加店舗を募り、市内の観光施設や土産物店、飲食店等の 36 店舗の参加を取り付け、新たなクーポン券およびリーフレットを作製した。本年度に業務用商材の取引を開始した Hotel & Resorts BEPPUWAN・創造空間 kamenos・和バル 奏に対して、市内への誘客の実施について交渉し、3 軒すべてから承諾を得た。市の理解度を深めるための研修をこの 3 軒の従業員に対して行い、3 月に観光客誘致プログラムを実施し、これによって 3 月末時点で 5 人を誘客した。4～5 月に実施した試験的な観光客誘致プログラムを合わせると、本年度は、県内観光地に立地する 5 軒のホテル・飲食店等で、194 人に市内への立ち寄り観光を呼び掛け、その内 26 人が実際に市を訪れた。

この他、市内への観光客誘致の取組みとして、8月に東京新宿の“るるぶキッチンビルディング”で開催されたイベント『全国サマー“バル”ケーション』に参加し、骨切りハモを使用した冷やし茶碗蒸しのメニュー展開に合わせて、市の観光情報を1か月間発信した。

2. 自主事業

流通事業部として、市内製品の販売を行った。

市内事業者および地域商社の恒常的かつ持続的な売上確保という観点から、これまでのフェアやイベントなどにおける単発的な製品販売ではなく、土産物店などへの販売、ふるさと納税およびECサイトなどにおける販売に重点的に取り組んだ。

特に、ふるさと納税事業部との協働を強化し、年間で3,000件、9,000千円（税抜）を超える売上げを上げ、杵築市のふるさと納税の出荷事業者の中でも件数で5番目、金額で7番目に多い実績を実現した。

特筆すべき取組みとしては、ANAのふるさと納税が毎月29日にだけ開催しているイベント「ANAにキュン」に、杵築市から初めて出品した。同イベントへの参加はふるさと納税の寄付が最も落ち込む1月であったが、JFおおいた杵築支店の鱧しゃぶセットの寄付額を通常10,000円から8,000円に下げた結果、短日で141件1,128千円の寄付を集める事ができ、ANAのふるさと納税としては寄付が最も集中する12月31日に次ぐ実績となった。なお、寄付額を1万円未満に設定する事も、食品の返礼品としては杵築市として初めての試みであった。

また、実販売金額としては大きくはないが、10/18に別府の杉乃井ホテルで開催された九州市長会において、各市町村コーナーに出展し、九州沖縄の各市長や同行した職員に杵築ブランドの周知・販売を行った。

令和4年度の実績は以下の通りである。

	令和4年度	令和3年度	増減	前年対比
売上高（税抜）	15,610千円	21,402千円	▲5,792千円	72.9%
荒利益高（税抜）	3,404千円	3,952千円	▲548千円	86.1%
荒利益率	21.8%	18.5%	3.3%	117.8%

参考資料

	令和4年度	令和3年度	増減	前年対比
売上高（税抜）	15,610千円	13,726千円	1,884千円	113.7%
荒利益高（税抜）	3,404千円	2,904千円	500千円	117.2%
荒利益率	21.8%	21.2%	3.3%	102.8%

※令和3年度は、コロナ補助金を投入した事業（ふるさと納税ニコニコエール品、おんせん県おおいたオンラインショップにおける50%引き等のクーポン発券）による売上げがあり、令和4年度はそれが全くなかった。参考資料は、令和3年度のコロナ補助金を投入した事業を除外した実績で、純粋な実績売上げ・利益は令和3年度を令和4年度が上回った。

令和4年度取引先（五十音順）

販売先（27社）

- ・海地獄
- ・大分航空ターミナル
- ・大木化粧品
- ・温泉閣
- ・カメノス
- ・きつき小町会
- ・杵築市（ふるさと納税）
- ・杵築ふるさと産業館
- ・紀ノ國屋
- ・さとふる
- ・ショワウォーク
- ・玉の湯
- ・峠たていしの館
- ・デンケン
- ・サンリッチ
- ・錦屋商事
- ・ホテル&リゾート別府湾
- ・ホテル白菊
- ・ホテル晴海
- ・松山堂
- ・るるパーク
- ・るるぶキッチン
- ・リ・クリエイト（別府湾サービスエリア）
- ・和バル 奏
- ・NATIONAL
- ・OH!
- ・その他（個人）

仕入先（28社）

- ・伊藤園
- ・今村商店（お茶のとまや）
- ・今村農園
- ・岡本商工（萬力屋）
- ・オレンジ農園
- ・絆屋
- ・きつき紅茶
- ・杵築七島蘭マイスタークラブ
- ・きつき茶生産組合
- ・杵築ふるさと産業館
- ・木付や
- ・九州乳業
- ・河野打刃物店
- ・三晃堂印刷
- ・椎茸問屋 徳一
- ・新庄農地利用組合
- ・森美
- ・高橋水産
- ・中野酒造
- ・豊予農場
- ・松山堂
- ・宮部商店（焼肉みやべ）
- ・野草の里やまうら
- ・山香ゆうきの会
- ・AMC
- ・JA おおいた東部事業部
- ・JA フーズおおいた
- ・JF おおいた杵築支店

II. ふるさと納税事業部

1. 委託事業

1) 令和4年度の寄附実績について

令和4年度の杵築市ふるさと納税の寄附金額は、923,367,291円であった。
令和3年度の寄附金額は824,435,370円であり、前年度比は約112%の寄附実績となった。
約98%がポータルサイト経由の寄附であり、下記5つのサイトを包括代行業務の一環として運用を行った。

- ・ふるさとチョイス（約53%）
- ・楽天市場（約24%）
- ・さとふる（約15%）
- ・ふるなび（約4%）
- ・ANA（約2%）

※（ ）は寄附金額の構成比

1. 令和4年度に行った施策

2-1 新規返礼品提供事業者開拓

令和4年度は下記3事業者の新規開拓を行った。

- ・社会福祉法人 博愛会（住吉浜リゾートパーク）
- ・全国農業協同組合連合会 大分県本部
- ・大分航空ターミナル株式会社

2-2 返礼品開発およびポータルサイトへの掲載

新規開拓を行った事業者の返礼品開発に加え、既存事業者においても新たな返礼品の開発を行った。返礼品への申込数を増やすために、過去の申込データを鑑み、品の内容量、単価設定、組み合わせを返礼品提供事業者と話し合いし、より優位な返礼品開発につなげた。

また、事業者毎・返礼品毎の供給量を考慮し、5つのポータルサイトで最大の効果を得られる様に在庫管理・納期管理を含めた受注管理を行った。

年末、12月31日時点での各ポータルサイトの返礼品掲載数は下記のとおりであった。

ふるさとチョイス・・・741品
楽天市場ふるさと納税・・・520品
さとふる・・・461品
ふるなび・・・442品
ANAのふるさと納税・・・407品

2-3 ふるさとチョイス企画・運営の（株）トラストバンクとの連携強化

令和4年からスタートした地域応援プロジェクト「Power of Choice 基金」は、ふるさとチョイスを企画・運営する（株）トラストバンクが主催する新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の継続に困難を生じた事業者が、持続可能な地域社会構築に向けて地域の経済や課題解決に取り組む新たなチャレンジに必要な資金を支援する取り組みである。

杵築市からは市内に住吉浜リゾートパークを運営する社会福祉法人 博愛会が「野遊び浜キャンプ場建設事業」の申請を行い採択された。きっとすきでは申請に必要な提案書作成の支援を行った。加えてこの支援金を活用して建設されたキャンプ場の利用券を体験型の返礼品としてふるさとチョイス上での掲載を行った。

11月12日・13日の2日間パシフィコ横浜で開催された第8回ふるさとチョイス大感謝祭では杵築市として出展を行い、市の認知度向上や寄附額伸張に努めた。

会場内の杵築市ブースを訪れた来場者の方に杵築市に関するクイズをタブレット上で解答させる企画を用意し、ふるさとチョイスのユーザーの方々に市や特産品の魅力を伝え、現地で市の職員と地域商社社員がトラストバンクの方々と直接対面することでコミュニケーションを深めることができた。

2-4 ふるさと納税PR業務による外部広告の運用について

令和4年度はプロポーザル方式により選任された広告代理店である（株）九州博報堂と共に外部広告（ポータルサイト外の広告）の運用を行った。

杵築市ふるさと納税のランディングページを新たに作成し、「Yahoo!ディスプレイネットワーク（YDA）」「SNS内広告（Facebook・Instagram）」「楽天ディスプレイ広告（楽天DSP）」といった主に3種類の広告媒体を活用して返礼品ページのアクセスアップを図った。具体的には、年末まで週に1回程度の定期的なミーティングを杵築市・（株）きっとすき・（株）九州博報堂で行い、10月～12月に投稿した広告について、日々変化するマー

ケットの動向を捉えた最適な運用に努めたことが、令和4年度の寄附実績向上に繋がったと信じる。

3. 次年度に向けて

前項の「(株)トラストバンクとの連携」「外部広告の運用」の大きく2つの施策が令和4年度の寄附金額923,367,291円という好結果に繋がった主な要因と言える。

令和5年度については(株)トラストバンクが秋にオープンするECサイト「めいぶつチョイス」に(株)きつとすきが事業者として参画し、ふるさと納税の垣根を越えて同社との連携を更に強めることとなる。令和5年5月29日には杵築市と(株)トラストバンクが商品開発支援等の連携協定を締結し、<地場産品を活用した新商品の開発・改良・発掘の支援><めいぶつチョイスを活用した販路の拡大><ふるさとチョイス内での企画等の連携>を協定事項とした。

この全国で4番目、九州では初となる(株)トラストバンクとの協定が叶った要因は、市内事業者の窓口を一手に担う地域商社の存在が(株)トラストバンクの掲げる「自立した持続可能な地域をつくる」というビジョンと合致したことにある。

これからも、地域商社きつとすきは地域の事業者との密なコミュニケーションに裏打ちされた円滑な受発注を強みとし、地域の良さを寄附者の方々に発信し、日々マーケットの動向を捉えた広告運用を行いながら、杵築市を始めとした関係諸機関と協力することでふるさと杵築応援寄附金事業の促進、つまりは杵築市へのふるさと納税額の増大に向けて邁進していく所存である。

Ⅲ. ドローン事業部

1. 委託事業

大分県委託事業に県内のドローン事業者と協働し参画した。

ドローン物流地域実装モデル構築推進事業

『ドローンを活用した物流と新たな観光資源の開発』

持続可能なドローン物流サービス化を目指し、ドローン物流による「体験型観光サービス」の提供を事業内で実施し、将来的には恒常的な物流サービスの足掛かりとする。

『るるパーク』『杵築市城下町周辺』の2フィールドを実証場所とし、ドローン物流の体制づくりを試みた。観光動線の構築による収益増加を図るとともに、将来的には横展開を行うことを目的として実施した。

2月4日(土)、5日(日)は、るるパーク内にて計6回の飛行が行われ、キャンプのお客様

に対して朝食・昼食・夕食・晩酌・お土産の5種類のセット配送と新聞配送の実証が行われた。

2月11日(土)、12日(日)は、KITTSUKI TERRACE(キツキテラス)と、ひいなめぐり開催の杵築城下(野上邸)の間でお客様向けに牡蠣や産品を相互配送する実証が行われた。

この模様はテレビ局・新聞社並びにドローン関連メディアに大きくとりあげられ、杵築市や(株)きっとすきのドローン分野への取り組みを域内外に情報発信した。

るるパークでは実証事業と並行して「おおいたドローンフェスティバル in 杵築」と題したイベントも2月4日・5日に行われ、弊社はVRゴーグル空撮体験を提供した。

両日ともに約1,500名の来場者となりドローンによる集客効果の検証にも繋がった。

2. 自主事業

(1)ドローン操縦・プログラミング体験

①.るるパークにて8月7日(日)・14日(日)・21日(日)に『夏休み親子ドローン教室』午前・午後に分けて実施した。

②.10月7日(金)に福岡県飯塚市立穂波東中学校2年生87名に県内初となる県外修学旅行生対象のドローン操縦・プログラミング体験を住吉浜リゾートホテルにて実施した。

この模様はテレビ局・新聞社にも大きくとりあげられ、杵築市の市名、並びに(株)きっとすきの社名告知のみならずユニークな取り組みとして伝えられた、

③.1月21日(土)にきつき少年少女発明クラブ24名にドローン操縦・プログラミング体験を健康福祉センター多目的ホールにて実施した。今年度行った同クラブの活動では1番の反響ということで、ドローン事業部の地域貢献性を実証した活動となった。

(2)おおいたドローンプラットフォームクロスとの連携

おおいたドローンプラットフォームクロスはドローンによる地域課題の解決及び社会実装を加速させていく上で、ドローンサービスをワンストップで一元的に管理・運用する役割を担う目的で大分県のドローンプラットフォーム推進事業として設けられた組織である。弊社も参画し、以下同プラットフォームより受注した業務である。

- ① 大分ホバー基地定点撮影(大分空港側)を令和4年12月より毎週火曜日、工事の進捗を記録に残す為実施。令和6年2月頃まで継続的に行う。
- ② 8月杵築市内においてドローンを使った農薬散布を実施した。
- ③ 3月電力会社PV制作のドローン空撮を担当した。

(3)ドローン検定講習会

国土交通省認定機関の検定講習会を2日間の日程で6月・7月・12月に実施。10名

参加。1日目の学科講習に関してはZoomを使ったオンラインで実施した。

2日目の実技講習は杵築市山香『上村の郷』にて実施した。

(4) ドローン講師派遣

- ・ 6月北杵築小学校3年4年生授業・『空から住んでいる街を見てみよう』
- ・ 8月青少年自立支援センター・職員向けアウトリーチ研修・ドローン講義・操縦体験
- ・ 11月玖珠町社会福祉協議会・引きこもり当事者へのアウトリーチ
- ・ 11月東院内まちづくり協議会・小学生ドローン講座及び操縦体験

(5) ドローン空撮業務

- ・ 10月杵築市内住宅会社
- ・ 12月杵築市内建設会社
- ・ 10月11月雲ヶ岳を守る会・世界農業遺産事業
- ・ 12月ふるさとCM大賞
- ・ 3月KDT(杵築ど〜んとテレビ)・杵築市海岸部撮影(「杵築海岸線物語」として既に放送開始)

その他

・夏のDigi田甲子園に大分県代表として出場

Digi田甲子園は国が進める「デジタル田園都市構想」の実現に向けた取組の一環として開催された。大分県代表として《アイデア部門》にノミネートされ全国大会に出場した。

「ドローンを活用した物流と新たな観光資源の開発」というタイトルのもと3分間の動画を作成した。

・総務省発行の第三セクター等に関する参考事例集に掲載

令和5年3月総務省発行の第三セクター等に関する参考事例集に『ドローンを活用した物流サービスと観光コンテンツ(『物流×観光』)開発への取組』というタイトルで杵築市並びに(株)きっとすきの取り組みが掲載された。

IV. その他

1. 各種団体での講演

(株)きっとすきは全国的に地域商社の成功事例として注目されており、各種団体からの視察・講演依頼に対応した。

- ・大分県佐伯市視察団（令和4年5月10日）
- ・鹿児島肝付町視察団（令和4年8月23日）
- ・大分県宇佐市視察団（令和4年10月27日）
- ・宮崎県日向市視察団（令和4年11月10日）
- ・三重県三十三銀行視察団（令和5年3月11日）
- ・大分県玖珠町視察団（令和5年5月18日）

4. 「おかえりの唄」プロジェクトの総合プロデュース

「おかえりの唄」プロジェクトの更なる情報発信として、令和4年11月13日に「おかえりの唄コンサート in 杵築」のタイトルで文化体育館においてコンサートを実現。全国から1,500人規模を集客し、杵築の知名度アップ並びに経済活性化に貢献した。ちなみに弊社は単独協賛社としてクレジットに名を連ねた。

令和4年度

株式会社 きつとすき

財 務 諸 表

市 築 杵

貸借対照表

代表者 大蔵 賢

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(資 産 の 部)				
I 流 動 資 産	(62,192,313)	(88.4)	(58,146,921)	(91.3)
現金及び預金	32,841,461	46.7	36,889,427	57.9
売掛金	28,784,993	40.9	19,958,401	31.3
棚卸資産	684,959	1.0	1,462,493	2.3
未収還付法人税等	0	0.0	36,100	0.1
貸倒引当金	△ 119,100	0.2	△ 199,500	0.3
II 固 定 資 産	(8,122,278)	(11.6)	(5,564,238)	(8.7)
有形固定資産	(8,122,278)	(11.6)	(5,564,238)	(8.7)
工具、器具及び備品	1,662,630	2.4	1,096,638	1.7
リース資産	6,459,648	9.2	4,467,600	7.0
無形固定資産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
投資その他の資産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
III 繰 延 資 産	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
資産の部合計	70,314,591	100.0	63,711,159	100.0

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(負 債 の 部)				
I 流 動 負 債	(25,974,848)	(36.9)	(16,418,042)	(25.8)
買掛金	13,510,143	19.2	5,129,822	8.1
未払掛金	8,884,335	12.6	8,480,030	13.3
未払法人税等	1,333,400	1.9	35,500	0.1
未払消費税等	2,241,500	3.2	2,714,100	4.3
預り金	5,470	0.0	58,590	0.1
II 固 定 負 債	(15,034,478)	(21.4)	(12,919,430)	(20.3)
長期借入金	8,000,000	11.4	8,000,000	12.6
長期未払金	7,034,478	10.0	4,919,430	7.7
負 債 の 部 合 計	41,009,326	58.3	29,337,472	46.0
(純 資 産 の 部)				
I 株 主 資 本	(29,305,265)	(41.7)	(34,373,687)	(54.0)
1. 資 本 金	4,500,000	6.4	4,500,000	7.1
2. 資 本 剰 余 金	0	0.0	0	0.0
3. 利 益 剰 余 金	(24,805,265)	(35.3)	(29,873,687)	(46.9)
(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	(24,805,265)	(35.3)	(29,873,687)	(46.9)
繰越利益剰余金	24,805,265	35.3	29,873,687	46.9
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0	0.0	0	0.0
III 新 株 予 約 権	0	0.0	0	0.0
純 資 産 の 部 合 計	29,305,265	41.7	34,373,687	54.0
負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	70,314,591	100.0	63,711,159	100.0

(単位:円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
I 売 上 高	(228,308,285)	(100.0)	(71,556,037)	(100.0)
業 務 委 託 高	204,085,414	89.4	54,146,672	75.7
商 品 売 上 高	19,933,588	8.7	15,904,464	22.2
ドローン事業売上	4,289,283	1.9	1,504,901	2.1
II 売 上 原 価	(175,450,911)	(76.8)	(12,535,890)	(17.5)
期首たな卸高	316,716	0.1	504,959	0.7
商品仕入高	175,639,154	76.9	12,977,424	18.1
合期末たな卸高	175,955,870	77.1	13,482,383	18.8
売上総利益	504,959	0.2	946,493	1.3
	52,857,374	23.2	59,020,147	82.5
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	(44,354,347)	(19.4)	(53,745,884)	(75.1)
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	44,354,347	19.4	53,745,884	75.1
営 業 利 益	8,503,027	3.7	5,274,263	7.4
IV 営 業 外 収 益	(1,908,365)	(0.8)	(1,145,974)	(1.6)
受 取 利 息 入	255	0.0	329	0.0
貸 倒 引 当 金 戻 入	106,900	0.0	119,100	0.2
雑 収 入	1,801,210	0.8	1,026,545	1.4
V 営 業 外 費 用	(118,815)	(0.1)	(199,215)	(0.3)
支 払 利 息 入	-285	-	-285	-
貸 倒 引 当 金 繰 入	119,100	0.1	199,500	0.3
経 常 利 益	10,292,577	4.5	6,221,022	8.7
VI 特 別 利 益	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
VII 特 別 損 失	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
税引前当期純利益	10,292,577	4.5	6,221,022	8.7
法人税、住民税及び事業税	2,306,900	1.0	1,152,600	1.6
当期純利益	7,985,677	3.5	5,068,422	7.1

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
旅費	20,334	0.0	384,975	0.5
広告費	230,000	0.1	446,568	0.6
容器器	139,603	0.1	295,422	0.4
荷造	124,210	0.1	180,797	0.3
支払	178,046	0.1	144,959	0.2
販売	2,443,756	1.1	3,862,733	5.4
諸役	40,250	0.0	50,069	0.1
給員	6,000,000	2.6	6,000,000	8.4
従業	16,783,265	7.4	20,707,029	28.9
厚定	5,401,625	2.4	6,765,350	9.5
減価	4,641,593	2.0	5,132,075	7.2
リ地	385,407	0.2	1,465,517	2.0
修事	2,584,858	1.1	2,558,040	3.6
通水	45,600	0.0	45,600	0.1
租接	229,080	0.1	229,080	0.3
保備	59,636	0.0	0	0.0
管車	583,841	0.3	535,240	0.7
研究	506,330	0.2	499,207	0.7
雑合	349,092	0.2	441,816	0.6
	56,689	0.0	56,550	0.1
	51,069	0.0	227,018	0.3
	88,680	0.0	75,600	0.1
	1,709,251	0.7	2,606,271	3.6
	587,400	0.3	587,400	0.8
	179,877	0.1	188,348	0.3
	59,553	0.0	137,195	0.2
	875,302	0.4	123,025	0.2
合 計	44,354,347	19.4	53,745,884	75.1

棚卸資産の計算内訳

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
商貯	504,959	0.2	946,493	1.3
蔵	180,000	0.1	516,000	0.7
合 計	684,959	0.3	1,462,493	2.0

株主資本等変動計算書

(株) きつとすき

令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月 31日まで

	前 期 額 (円)	決 算 額 (円)
I 株 主 資 本		
1. 資 本 金		
当期首残高	4,500,000	4,500,000
当期変動額	0	0
当期末残高	4,500,000	4,500,000
2. 利 益 剰 余 金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	16,819,588	24,805,265
当期変動額		
当期純利益	7,985,677	5,068,422
当期末残高	24,805,265	29,873,687
その他利益剰余金合計		
当期首残高	16,819,588	24,805,265
当期変動額		
当期純利益	7,985,677	5,068,422
当期末残高	24,805,265	29,873,687
株 主 資 本 合 計		
当期首残高	21,319,588	29,305,265
当期変動額		
当期純利益	7,985,677	5,068,422
当期末残高	29,305,265	34,373,687
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
III 新 株 予 約 権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
純 資 産 の 部 合 計		
当期首残高	21,319,588	29,305,265
当期変動額		
当期純利益	7,985,677	5,068,422
当期末残高	29,305,265	34,373,687

個別注記表

令和 4 年 4 月 1 日から
令和 5 年 3 月 31 日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 8,240,857円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 45株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、763,859.71円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、112,631.60円であります。

以 上

